



Design Communicator

インストール手順説明書

CompuTips, Inc.

第 3.42 版

目次

1 インストール手順.....	2
2 インストールの実行.....	7
3 ライセンスの設定.....	16
4 ライセンスの移行.....	26
5 ライセンスサーバーの設定.....	39
6 ライセンスサーバーを利用するクライアントの設定.....	52
7 ライセンスサーバーの移行.....	58
8 Expressus用VRML出力コマンド.....	60
9 アンインストール手順.....	61

1 インストール手順

-  セットアップ CD-ROM よりインストールする場合は、手順 1-1 へ進んでください。
-  Web ページより自己解凍ファイルをダウンロードし、インストールする場合は、手順 1-2 へ進んでください。

Expressus をインストールするためにはインストール先のドライブに 100MB 以上の空き容量が必要です。

インストールの最後にシステムを再起動する必要がある場合があります。

全てのプログラムを終了させてから、セットアップを行って下さい。

1-1

インストール CD よりインストールする場合

Expressus インストール CD を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によって、セットアップウィザードが起動されます。

ただし、システムの状態によってオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある SETUP.EXE ファイルをダブルクリックして起動して下さい。

手順 2-1 へ進んでください。

1-2

Web ページより自己解凍ファイルをダウンロードして、インストールする場合

- ① Comapplix (コムアプリケーション) のホームページ <http://www.comapplix.co.jp/> を開きます。
- ② [ダウンロード] をクリックします。

Expressus 設計・製造に必要なすべてが、ここ

ホーム 製品紹介 ダウンロード

ホーム

製品紹介
ダウンロード
 ライセンス申請
 正式ライセンス
 試用ライセンス
 ライセンス移行
 FAQ
 ユーザーサポート
 スタッフページ

Expressus
 示るだけではな
 必要ないいろ
 ★デジタルモック
 ★画期的な RTC
 遠隔地間設計レ
 ★ Expressus
 音声付きでご覧
 ★プレス金型の
 シミュレーション

Coming soon !!

Expressus 中国語 (簡体字) 版をリリースします。
 ネットワークライセンスに対応します。

- ③ [Expressus ダウンロード] をクリックします。

Expressus 設計・製造に必要なすべてが、ここにある

ホーム 製品紹介 ダウンロード ユーザーサポート

ダウンロード

Expressus
ダウンロード
 インストール
 マニュアル
 パンフレット
 紹介 CD 送付依頼

Expressus Version 2.50 (2005/03/23) **New!**

Expressus Ver2.50 での追加・変更点

- モデル比較機能
 2つのノードを指示して、2つのモデルの形状比較を行うことができます。許容誤差以下検索して、色表示を行います。製品モデルの設計変更時などに有効な機能です。
- 色選択機能
 指定した要素色に近い要素もしくはノードを選択状態にする機能です。選択されたノードは、領域選択などの他の方法で選択されたものと同様に扱え、位相操作やノード変更、など様々な用途に利用できます。
- ビューポート機能
 ・ビューポート作成時に、タイル表示に切り替えるようにしました。

- ④ [ダウンロードを実行する]をクリックします。

▼ENGLISH

Expressus

設計・製造に必要なすべてが、ここにある。

ホーム 製品紹介 ダウンロード ユーザーサポート

ダウンロード > Expressus ダウンロード

Expressus ダウンロード

- **Expressus**は初期インストール時にはワンタイムライセンスが付加されます。ワンタイムライセンスでは、**Expressus**を一定回数、実行することができ、全ての機能が評価いただけます。

さらに、[試用ライセンス](#)を取得する事で、**Expressus**の持つ全ての機能を評価していただけます。

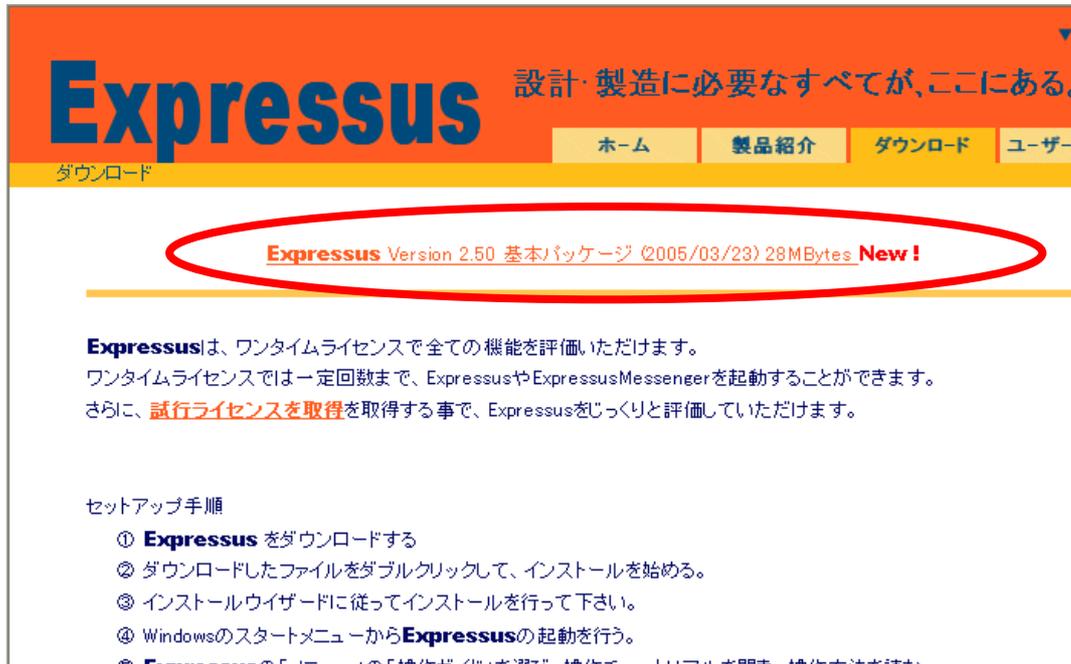
- **セットアップ手順**
 - ① **Expressus** をダウンロードする。
 - ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、インストールを始める。
 - ③ インストールウィザードに従ってインストールを行う。
 - ④ Windowsのスタートメニューから**Expressus**の起動を行う。
 - ⑤ **Expressus**の「メニュー」の「操作ガイド」を選び、操作チュートリアルを開き、操作方法を読む。
 - ⑥ サンプルファイルを開いて、操作してみる。

[ダウンロードを実行する](#)

ComApplix について お問い合わせ

- ⑤ 「ソフトウェア使用許諾書」お読みください。使用許諾書の内容に同意していただける方は、[\[同意する\]](#)のボタンをクリックしてください。
- ⑥ 必要事項を記入して、[\[送信ボタン\]](#)を押してください。
- ⑦ 入力された E-Mail アドレスにダウンロードページのアドレスが記載したメールが送信されます。

- ⑧ メールに記載されたダウンロードページのアドレスをダブルクリックしてダウンロードページを表示させます。



[Expressus Version0.00 基本パッケージ]をクリックしてインストールファイルをダウンロードします。

- ⑩ [ファイルのダウンロード]ダイアログボックスが表示されたら、[保存]ボタンをクリックします。



- ⑪ [名前を付けて保存]ダイアログボックスで、自己解凍ファイルの保存先を指定し、[保存]ボタンを押します。



ダウンロードが完了したら、保存したインストールファイルをダブルクリックしてインストールプログラムを起動します。

手順 2-1 へ進んでください。

2 インストールの実行

2-1

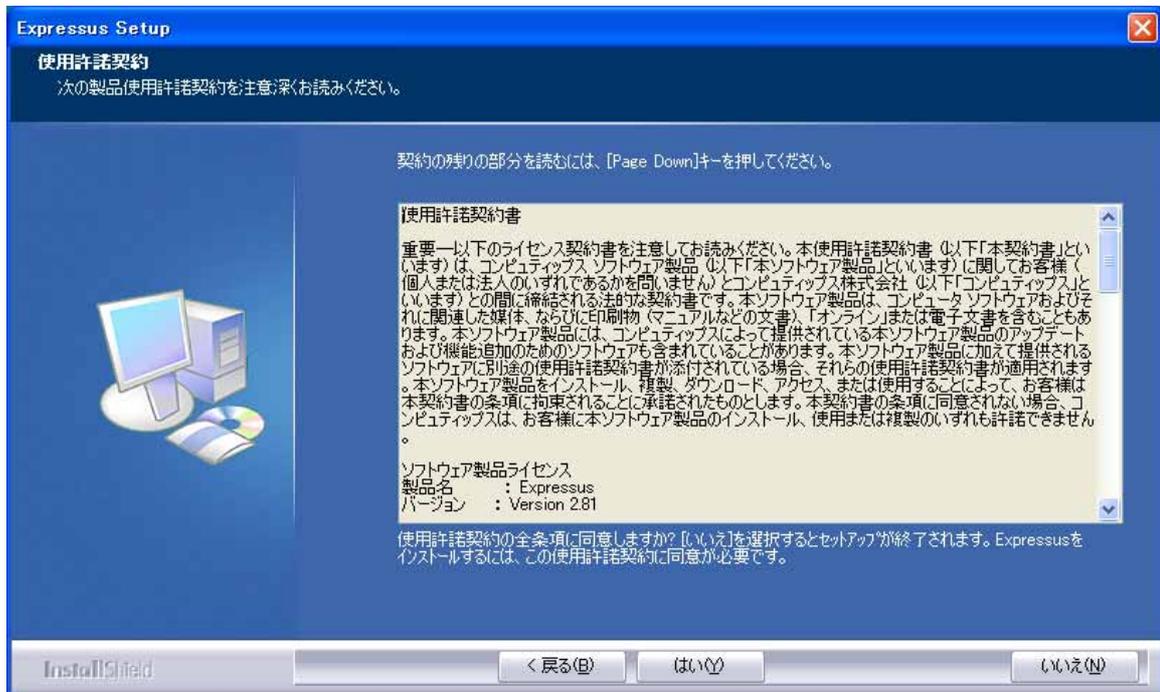
[Expressus セットアッププログラムへようこそ]の記載を読み、[次へ]ボタンをクリックします。



2-2

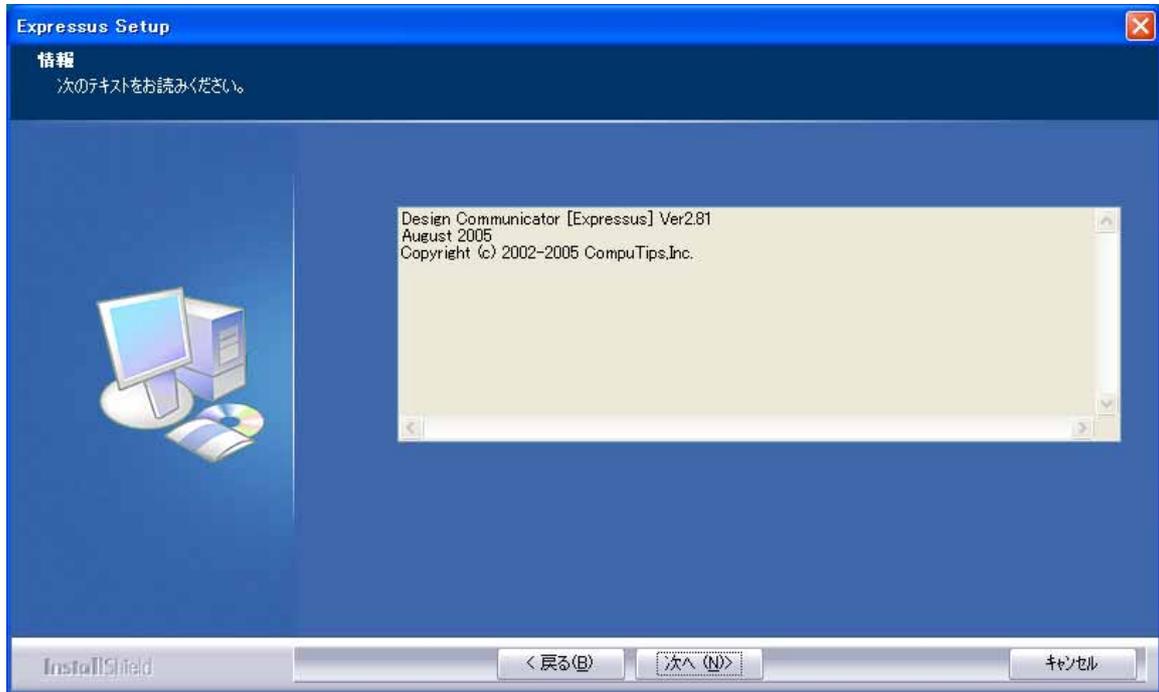
[使用許承契約書]の内容をよくお読みになり、同意される場合は、[はい]ボタンをクリックして下さい。

[いいえ]ボタンをクリックすると、セットアップは中止されます。



2-3

[情報]の内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



2-4

[インストールする Expressus の言語の選択] が表示されますので、インストールする言語を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



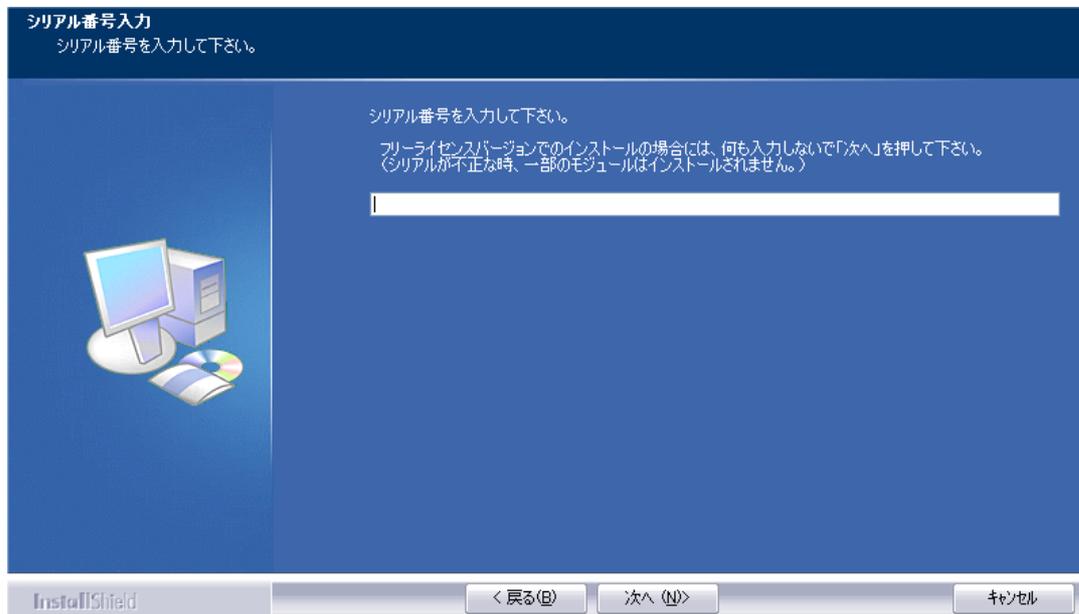
Expressus は、1 台の PC に複数の言語バージョンをインストールすることができ、1つのライセンスで使用できます。

英語版は、どの言語の OS でも使用できますが、日本語版は、日本語 OS でしか使用できません。

2-5

[シリアル番号]をお持ちの場合は、シリアル番号入力して、[次へ]ボタンをクリックします。

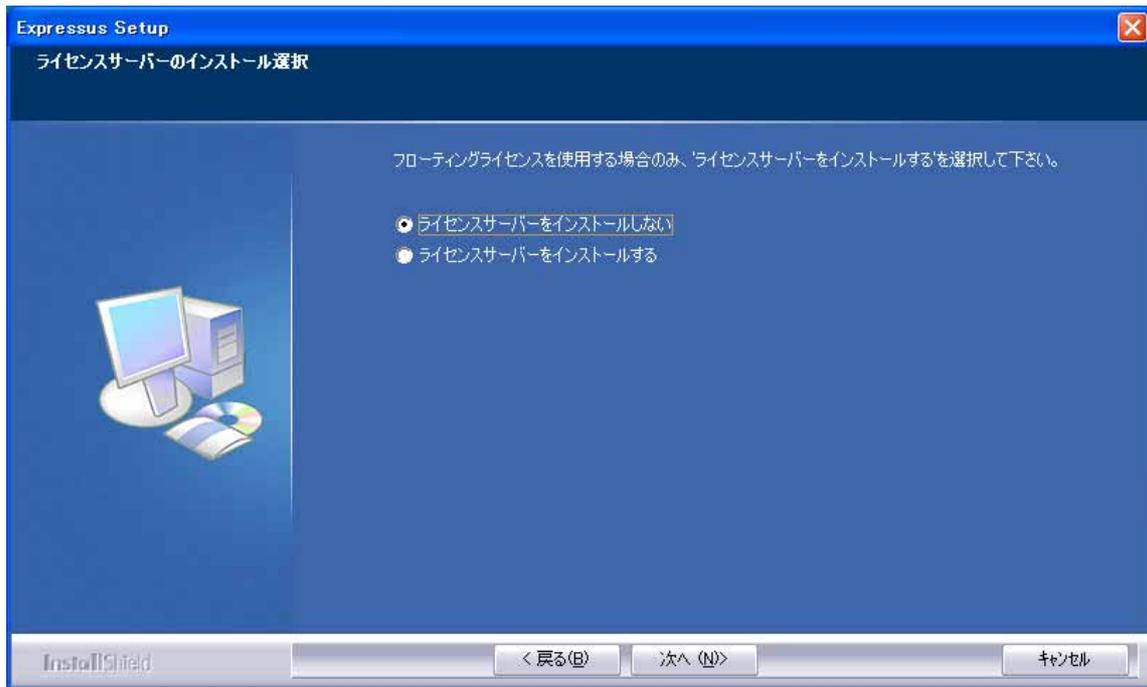
シリアル番号をまだお持ちでない場合は、何も入力しないで[次へ]ボタンをクリックします。



2-6

ライセンスサーバーをインストールするかどうかを選択してください。

フローティングライセンスをご使用で、サーバー用の PC にインストールする場合のみ、ライセンスサーバーをインストールするかを選択してください。



2-7

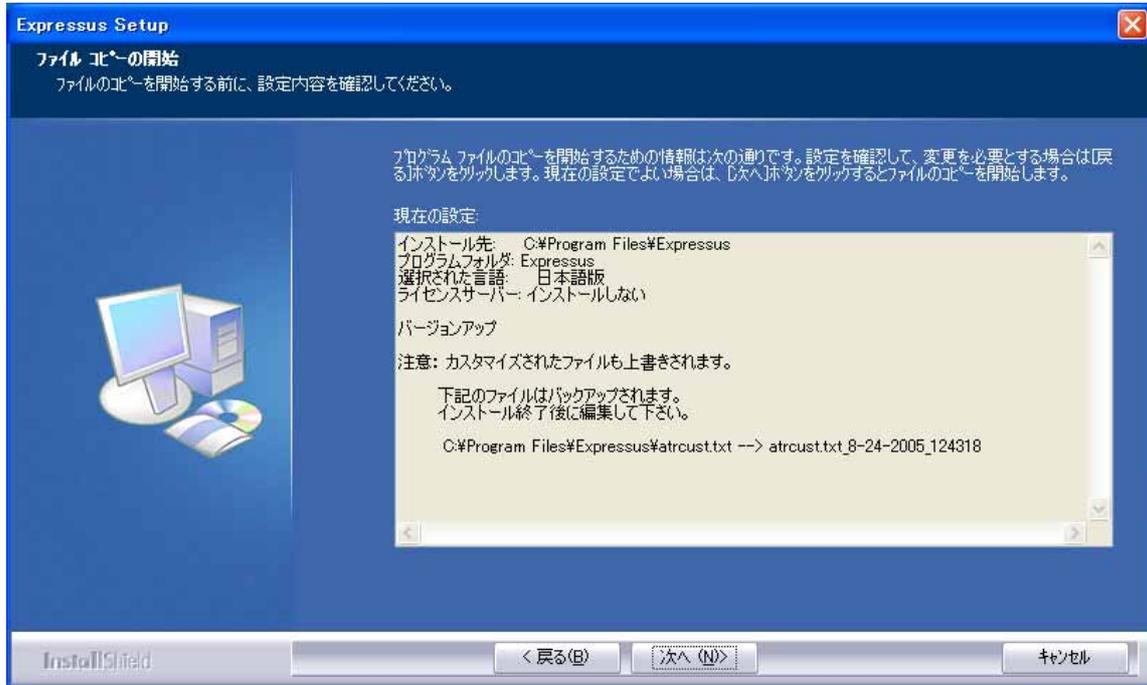
すでに Expressus がインストールされている場合は、上書きするかどうかを選択します。



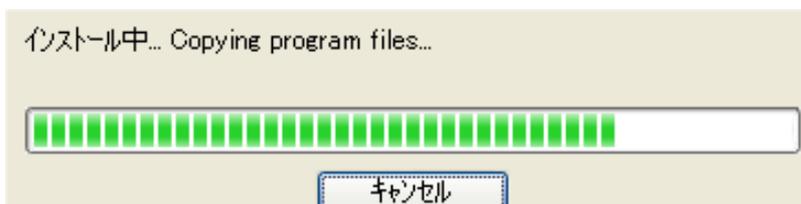
2-8

設定内容を確認して、[次へ]ボタンをクリックして下さい。

インストールが始まります。



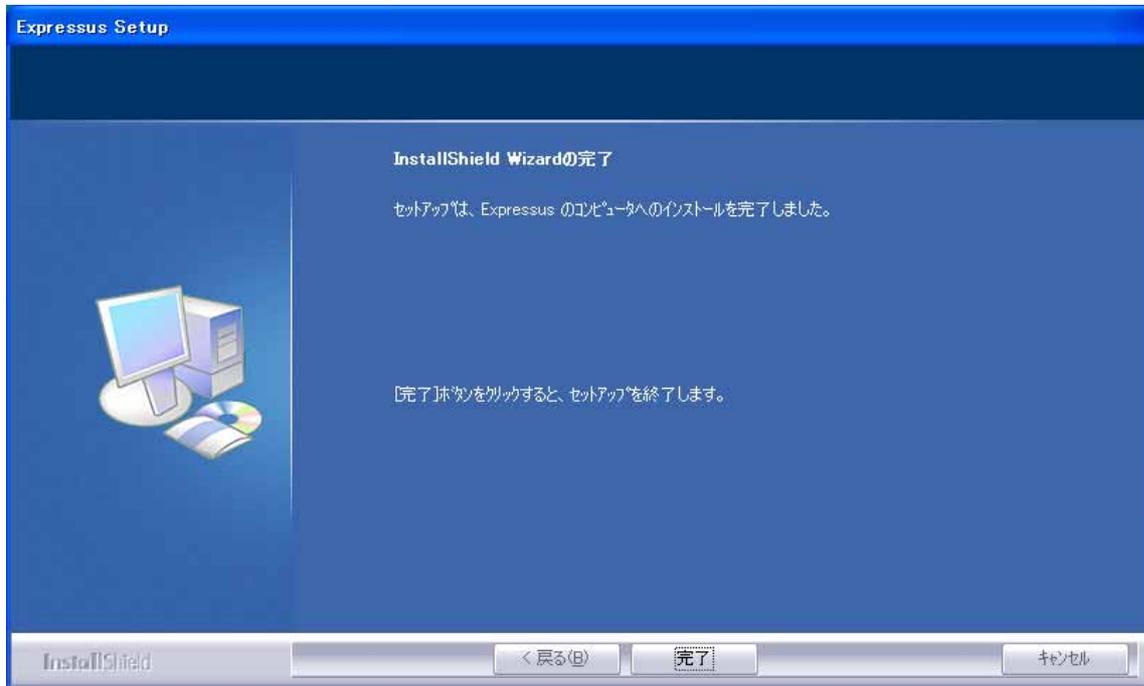
ファイルのコピーが開始されます。



2-9

ファイルコピーが終了すると、[InstallShield Wizard の完了]が表示されます。

[完了]ボタンをクリックし、セットアップウィザードを終了します。



Expressus を利用するには、ライセンスの申請と設定が必要です。
手順 3-1 へ進んでください。

3 ライセンスの設定

3-1

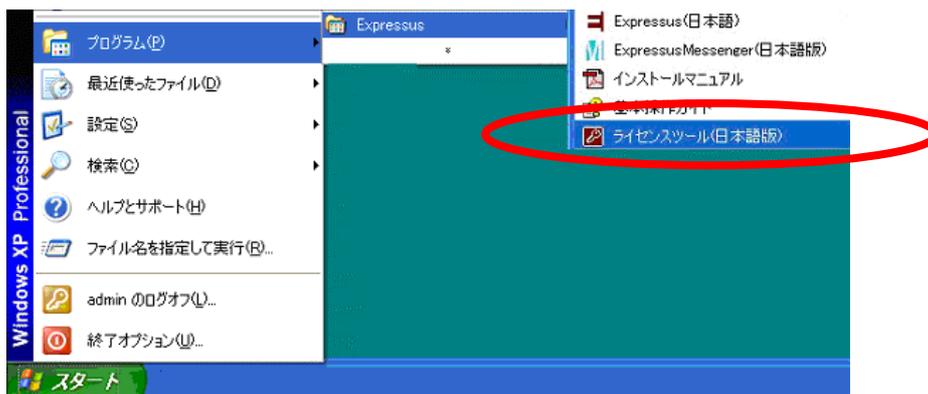
ライセンス設定は、以下の手順で行います。

- コンピュータ ID の調査 (ライセンスツールを実行して調べる)
- ライセンスパスワード申請 (Web ページから)
- ライセンスパスワード連絡書入手 (電子メールにて)
- ライセンスパスワード設定 (ライセンスツールで設定)
- ライセンスパスワード確認 (ライセンスツールで確認)

3-2

コンピュータ ID を調べます。

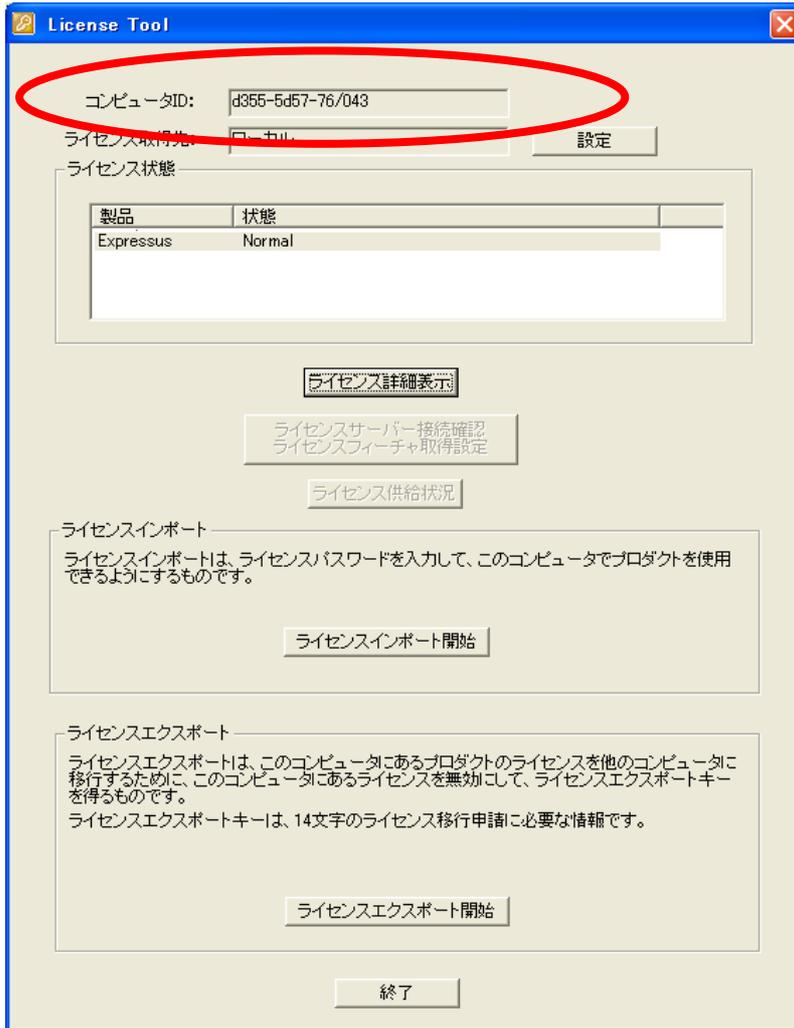
Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。



3-3

[ライセンスツール]が起動したら、ダイアログボックスに表示されている[4桁-4桁-2桁/3桁]の英数字がコンピュータIDです。

Web ページの[正式(試用)ライセンス申請]フォームに、このコンピュータID をカット&ペーストを使用して転記して下さい。



* コンピュータID は、コンピュータ固有のもので、ライセンスはコンピュータID に対して発行されます。

3-4

ライセンスパスワードの申請は、Comapplix（コムアプリケーション）のホームページ <http://www.comapplix.co.jp/> より行ってください。

- ➡ 正式ライセンスを申請する場合は、手順 3-4-1 に進んでください。
- ➡ 試用ライセンスを申請する場合は、手順 3-4-2 に進んでください。

3-4-1

正式ライセンスパスワード申請は以下の手順で行って下さい。

- ① Comapplix（コムアプリケーション）のホームページ <http://www.comapplix.co.jp/> を開き、[正式ライセンス]をクリックします。

The screenshot shows the Expressus website homepage. The left sidebar contains a menu with the following items: ホーム (Home), 製品紹介 (Product Introduction), ダウンロード (Download), **ライセンス申請 (License Application)** (circled in red), 正式ライセンス (Official License), 試用ライセンス (Trial License), ライセンス移行 (License Transfer), FAQ, ユーザーサポート (User Support), and スタッフページ (Staff Page). The main content area features a world map with arrows pointing to various regions, and a 'Coming soon !!' announcement for Chinese and network licenses.

Coming soon !!

- Expressus 中国語(簡体字)版をリリースし、
- ネットワークライセンスに対応します。
- RTCサーバーモジュールの外販を行います。

- ② [ソフトウェア使用許諾書]が表示されたら、内容をよくお読みになってから、同意される場合は、[同意する]ボタンをクリックして下さい。

③ [正式ライセンス申請フォーム]が表示されますので、必要事項を入力し[申請]ボタンを押してください。

*) コンピュータ ID の項目には、手順 3-3 で表示されたコンピュータ ID を、カット&ペーストにより入力して下さい。

*) E-mail アドレス入力項目については、入力ミスを防ぐため 2 回入力して下さい。

*) シリアル番号によって、ご購入いただいたソフトウェアのモジュール内容を確認いたします。
ソフトウェアの出荷時にお知らせした正しいシリアル番号をご記入ください。

④ 弊社より、電子メールにて 2 営業日以内に「試用ライセンスパスワード連絡書」を返信致します。

手順 3-5 へ進んでください。

3-4-2

試用ライセンスパスワード申請は以下の手順で行って下さい。

- ① Comapplix (コムアプリケーション) のホームページ <http://www.comapplix.co.jp/> を開き、[試用ライセンス] をクリックします。



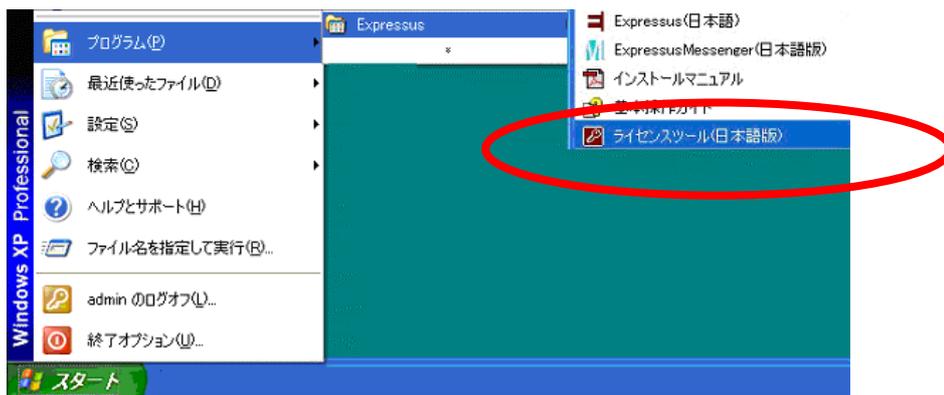
- ② [ソフトウェア使用許諾書] が表示されたら、内容をよくお読みになってから、同意される場合は、[同意する] ボタンをクリックします。
- ③ [試用ライセンス申請フォーム] が表示されますので、必要事項を入力し [申請] ボタンを押してください。
- *) コンピュータ ID の項目には、手順 3-3 で表示されたコンピュータ ID を、カット&ペーストにより入力して下さい。
- *) E-mail アドレス入力項目については、入力ミスを防ぐため 2 回入力して下さい。
- ④ 弊社より、電子メールにて 2 営業日以内に「試用ライセンスパスワード連絡書」を返信致します。

手順 3-5 へ進んでください。

3-5

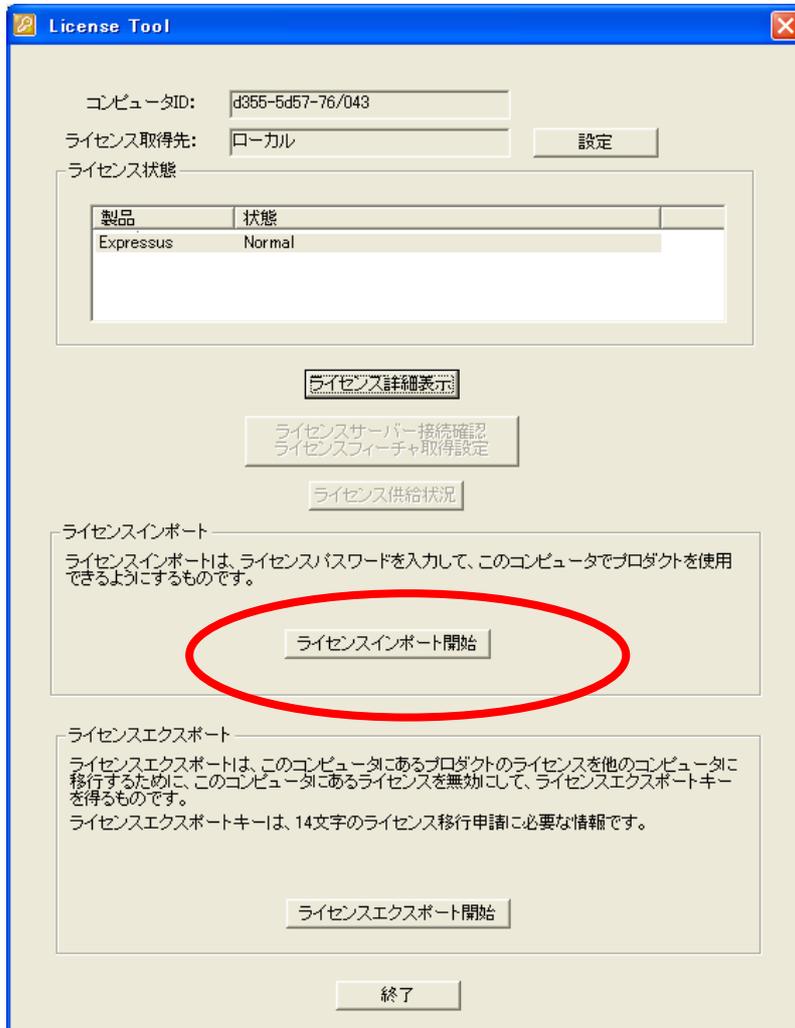
入手したライセンスパスワードの設定を行います。

Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。



3-6

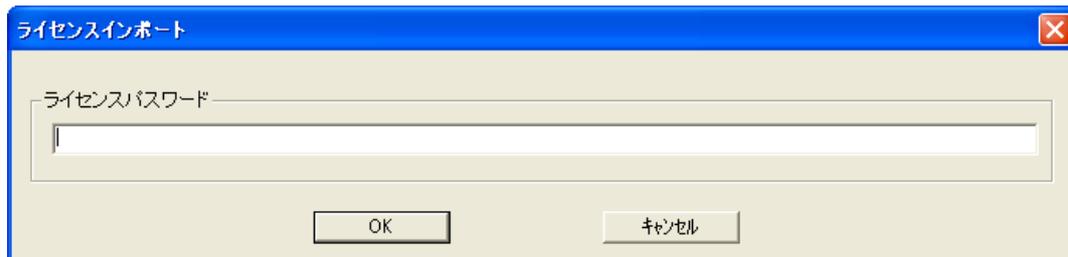
[ライセンスツール]が起動したら、[ライセンス取得先]が「ローカル」となっていることを確認し、[ライセンスインポート開始]をクリックします。



[ライセンス取得先]が「ライセンスサーバー」となっている場合は、[ライセンス取得先]を「ローカル」に変更してください。

3-7

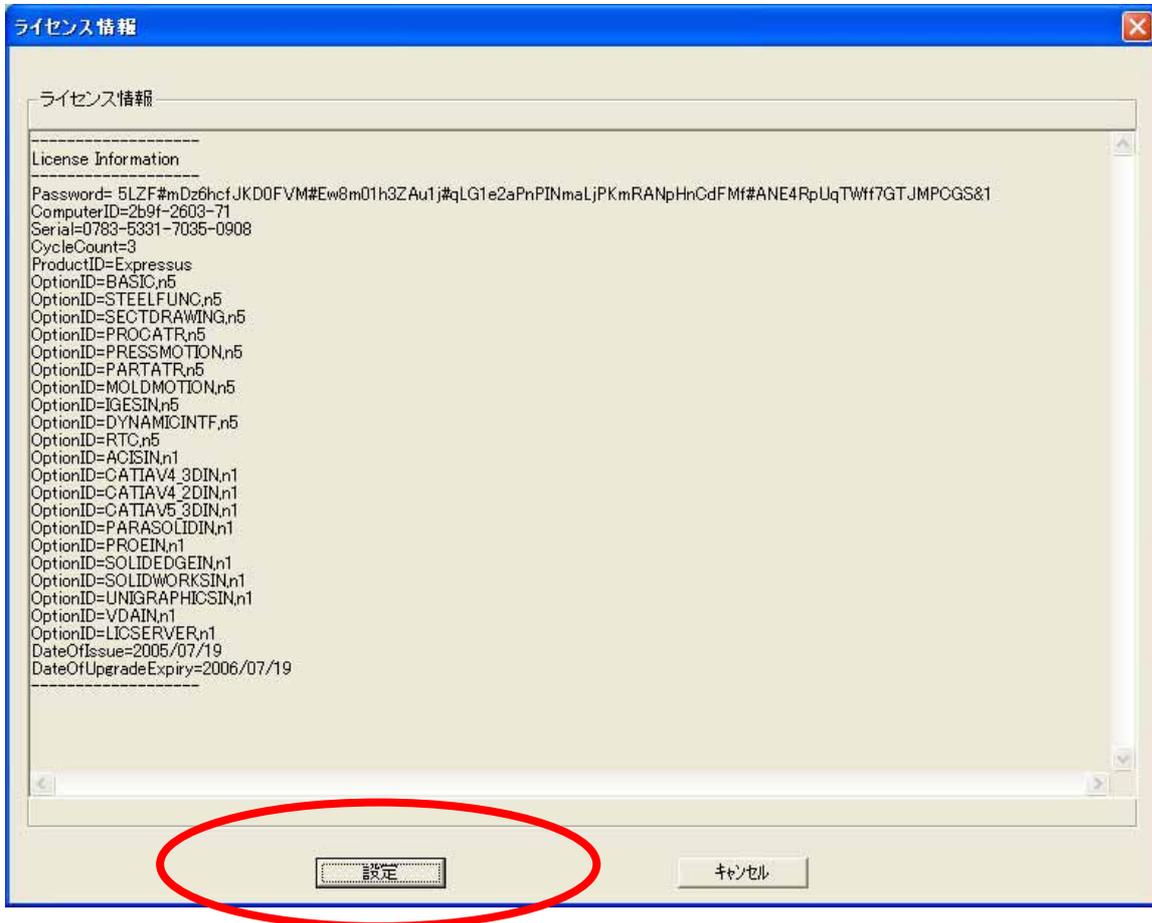
[正式ライセンスパスワード連絡書]あるいは、[試用ライセンスパスワード連絡書]に記載されているライセンスパスワードを、[ライセンスインポート]ダイアログボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



ライセンスパスワードは、カット&ペーストにて入力してください。

3-8

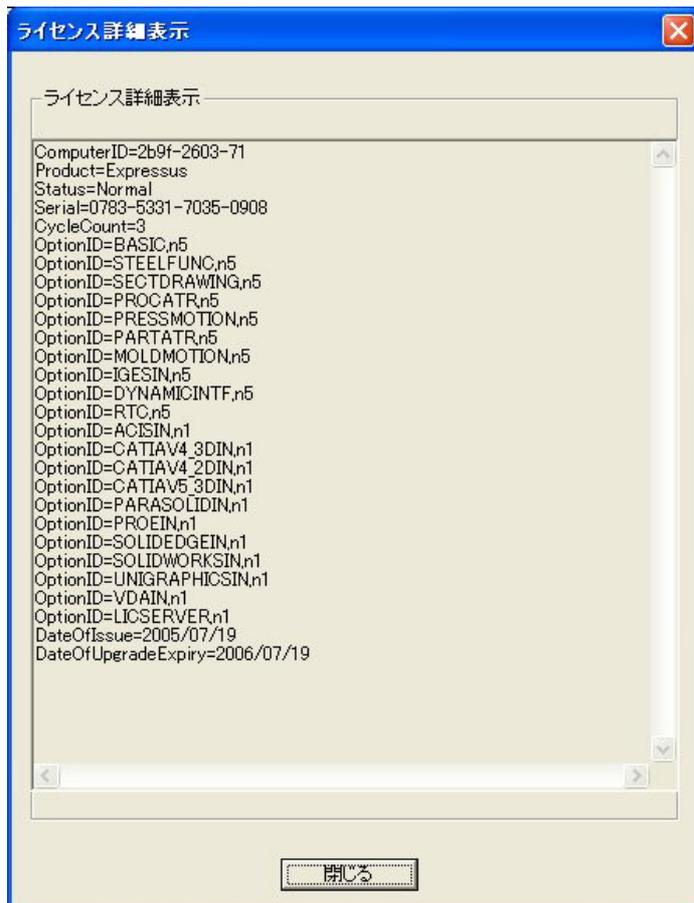
[ライセンス情報]の[設定]ボタンをクリックして下さい。



[ライセンス表示]にて、「ライセンスが不正です。」あるいは、「ライセンスが設定されていません。」のメッセージが表示された場合は、正しいライセンスパスワードを再度入力し、パスワードの設定を行って下さい。

3-9

[ライセンスツール]ダイアログボックスの[ライセンス詳細表示]をクリックし、ライセンス情報の確認を行います。



4 ライセンスの移行

4-1

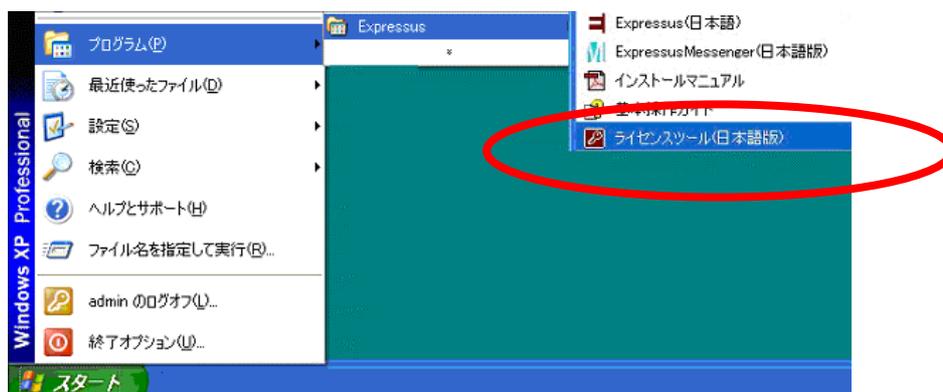
ライセンス移行は、以下の手順で行います。

- 移行前のコンピュータで、ライセンスのエクスポートを実行
- 移行先コンピュータに Expressus をインストールする
- 移行先コンピュータのコンピュータ ID の調査（ライセンスツールを実行して調べる）
- ライセンス移行申請（Web ページから）
- ライセンスパスワード連絡書入手（電子メールにて）
- ライセンスパスワード設定（ライセンスツールで設定）
- ライセンスパスワード確認（ライセンスツールで確認）

4-2

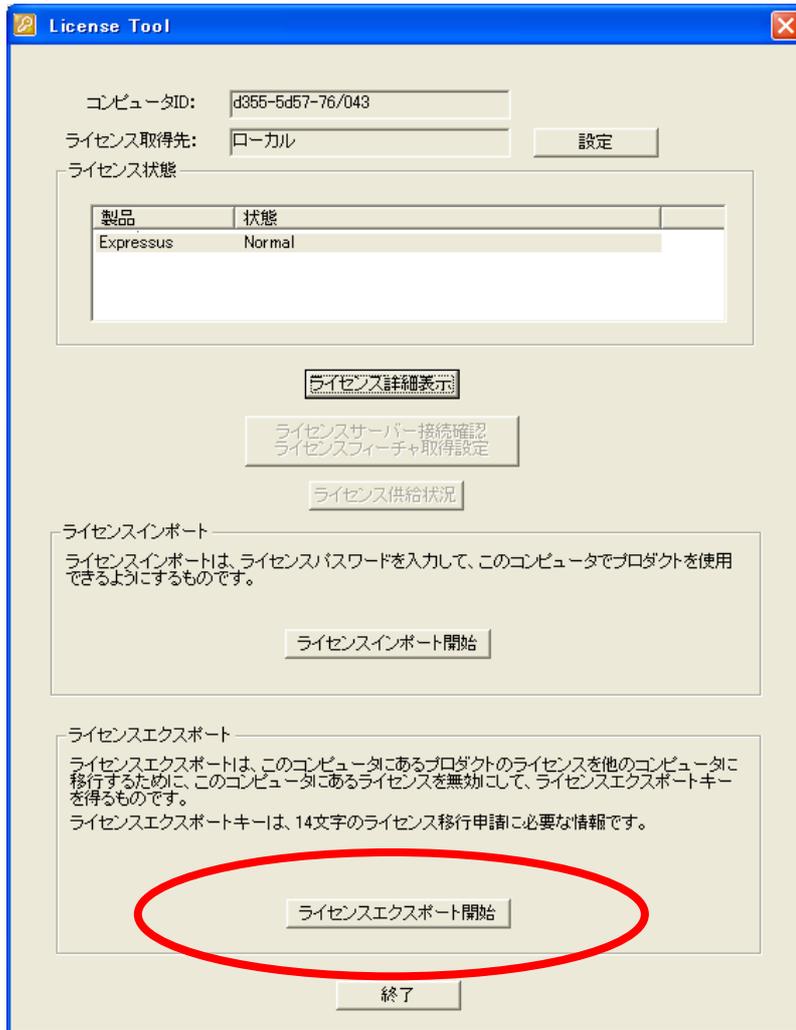
移行前のコンピュータで、ライセンスのエクスポートを実行します。

Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。



4-3

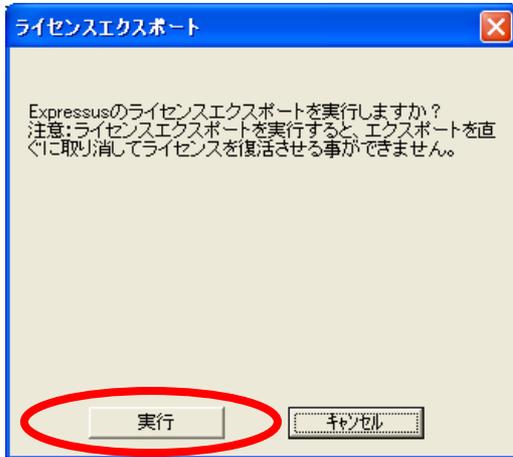
[ライセンスツール]が起動したら、[ライセンス取得先]が「ローカル」となっていることを確認し、[ライセンスエクスポート開始]をクリックします。



[ライセンス取得先]が「ライセンスサーバー」となっている場合は、[ライセンス取得先]を「ローカル」に変更してください。

4-4

[実行]をクリックします。



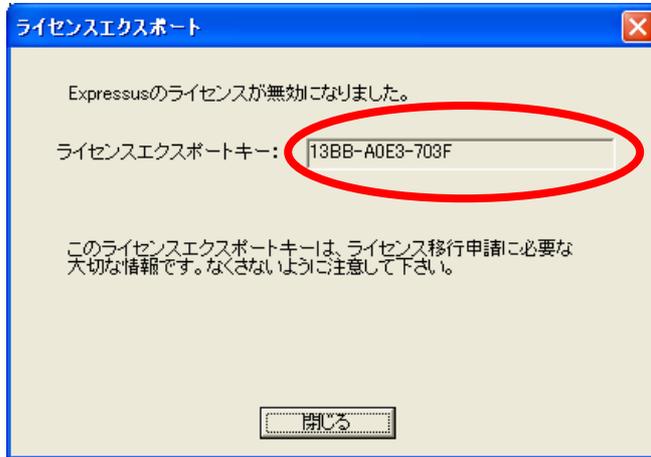
* ライセンスをエクスポートすると、エクスポートしたコンピュータのライセンスは無効になり、Expressus を使用できなくなります。

ライセンスエクスポートの最終確認のダイアログで、[はい]をクリックします。



4-5

ライセンスがエクスポートされて、ライセンスエクスポートキーが表示されます。



- * ライセンスエクスポートキーは、ライセンスをエクスポートしたことを証明する重要な文字列で、ライセンス移行申請に必要となります。

4-6

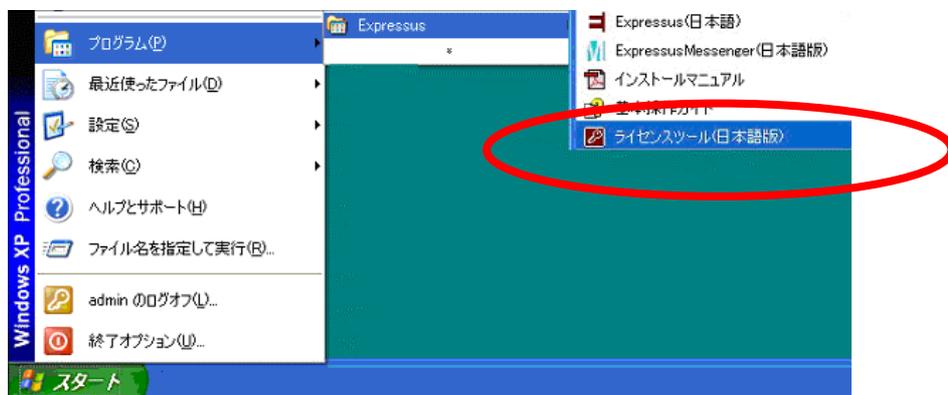
移行先のコンピュータに Expressus をインストールします。

インストール手順は、手順 2 と同じです。

4-7

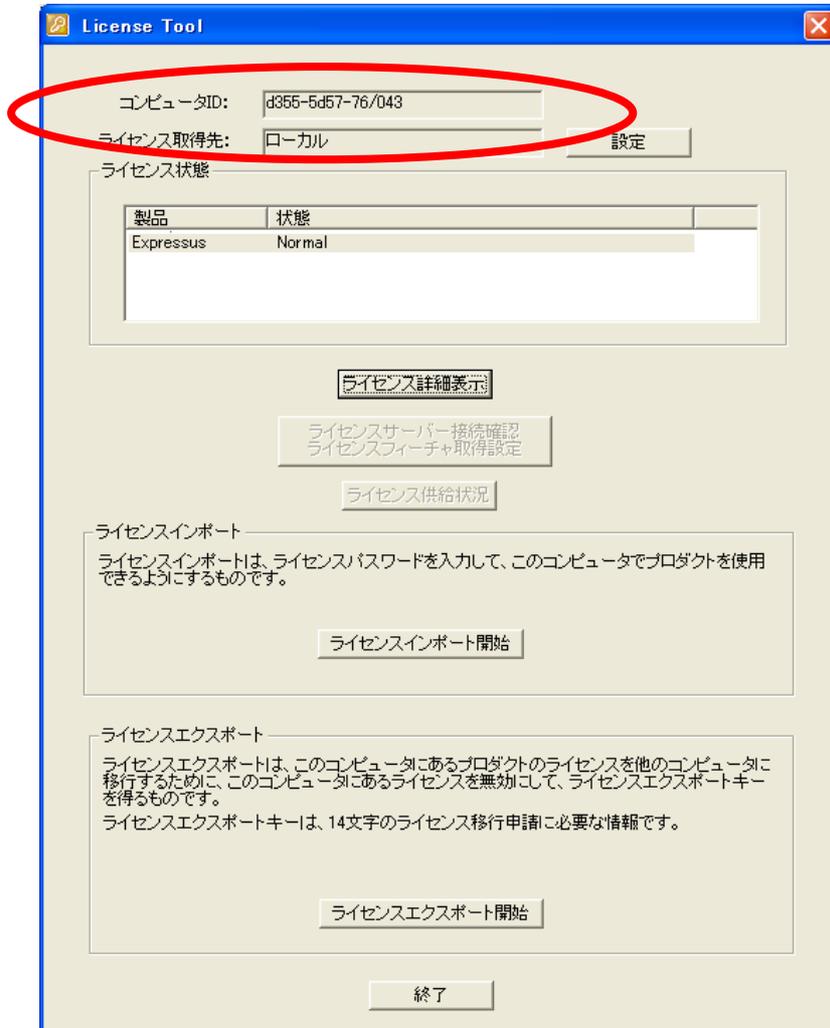
移行先のコンピュータのコンピュータ ID を調べます。

Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。



4-8

[ライセンスツール]が起動したら、ダイアログボックスに表示されている[4桁-4桁-2桁/3桁]の英数字がコンピュータIDです。



* コンピュータIDは、コンピュータ固有のもので、ライセンスはコンピュータIDに対して発行されません。

4-9

ライセンス移行申請を、Comapplix(コムアプリケーション)のホームページ <http://www.comapplix.co.jp/> より行ってください。

- ① Comapplix(コムアプリケーション)のホームページ <http://www.comapplix.co.jp/> を開き、[ライセンス移行]をクリックします。

Expressus 設計・製造に必要なすべてが、こ

ホーム 製品紹介 ダウンロード

ホーム

製品紹介
ダウンロード
ライセンス申請
試用ライセンス
ライセンス移行
FAQ
ユーザーサポート
スタッフページ

expressus.net

Expressus
示するだけではな
で必要ないろ
★デジタルモック
★画期的なRTC
遠隔地間設計レ
★ExpressusR
音声付きでご覧
★プレス金型の
だシミュレーション

Expressus
Coming soon !!
●Expressus中国語(簡体字)版をリリースします。
●ネットワークライセンスに対応します。
●RTCサーバーモジュールの外販を行います。

お知らせ
●Expressus Version 2.50でエディタ機能、色管理機能を追加しました。

- ② [ソフトウェア使用許諾書]が表示されたら、内容をよくお読みになってから、同意される場合は、[同意する]ボタンをクリックして下さい。

③ [ライセンス移行申請フォーム]が表示されますので、必要事項を入力し[申請]ボタンを押してください。

* シリアル番号によって、ご購入いただいたソフトウェアのモジュール内容を確認いたします。

ソフトウェアの出荷時にお知らせした正しいシリアル番号をご記入ください。

シリアル番号は、ライセンスツールのライセンス詳細表示でも確認することができます。

* コンピュータID の項目には、手順 4-8 で表示されたコンピュータID を入力して下さい。

* E-mail アドレス入力項目については、入力ミスを防ぐため2回入力して下さい。

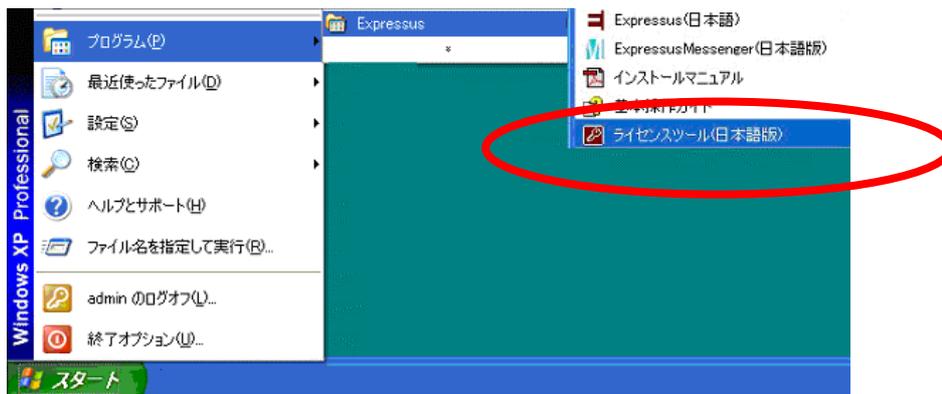
* ライセンスエクスポートキーには、手順 4-5 で得られたライセンスエクスポートキーを入力してください。

④ 弊社より、電子メールにて2営業日以内に「試用ライセンスパスワード連絡書」を返信致します。

4-10

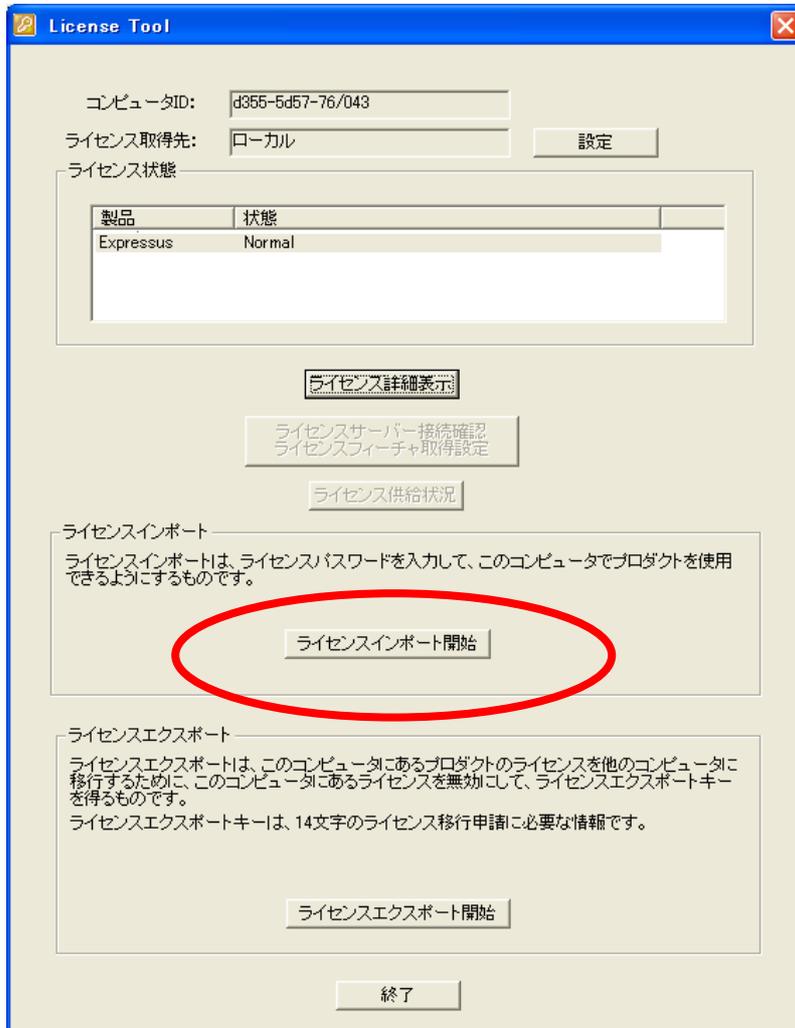
入手したライセンスパスワードの設定を行います。

Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。



4-11

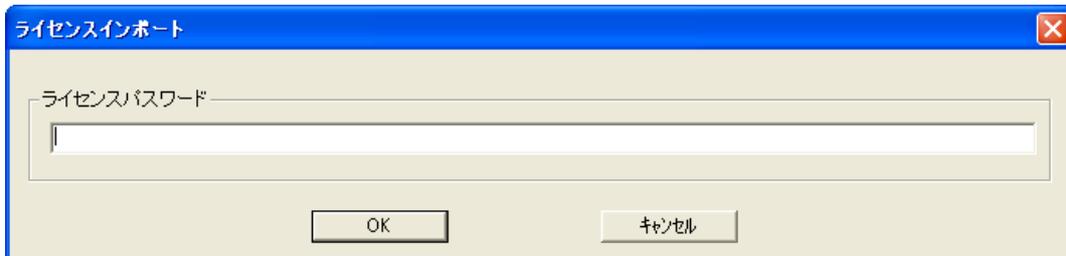
[ライセンスツール]が起動したら、[ライセンス取得先]が「ローカル」となっていることを確認し、[ライセンスインポート開始]をクリックします。



[ライセンス取得先]が「ライセンスサーバー」となっている場合は、[ライセンス取得先]を「ローカル」に変更してください。

4-12

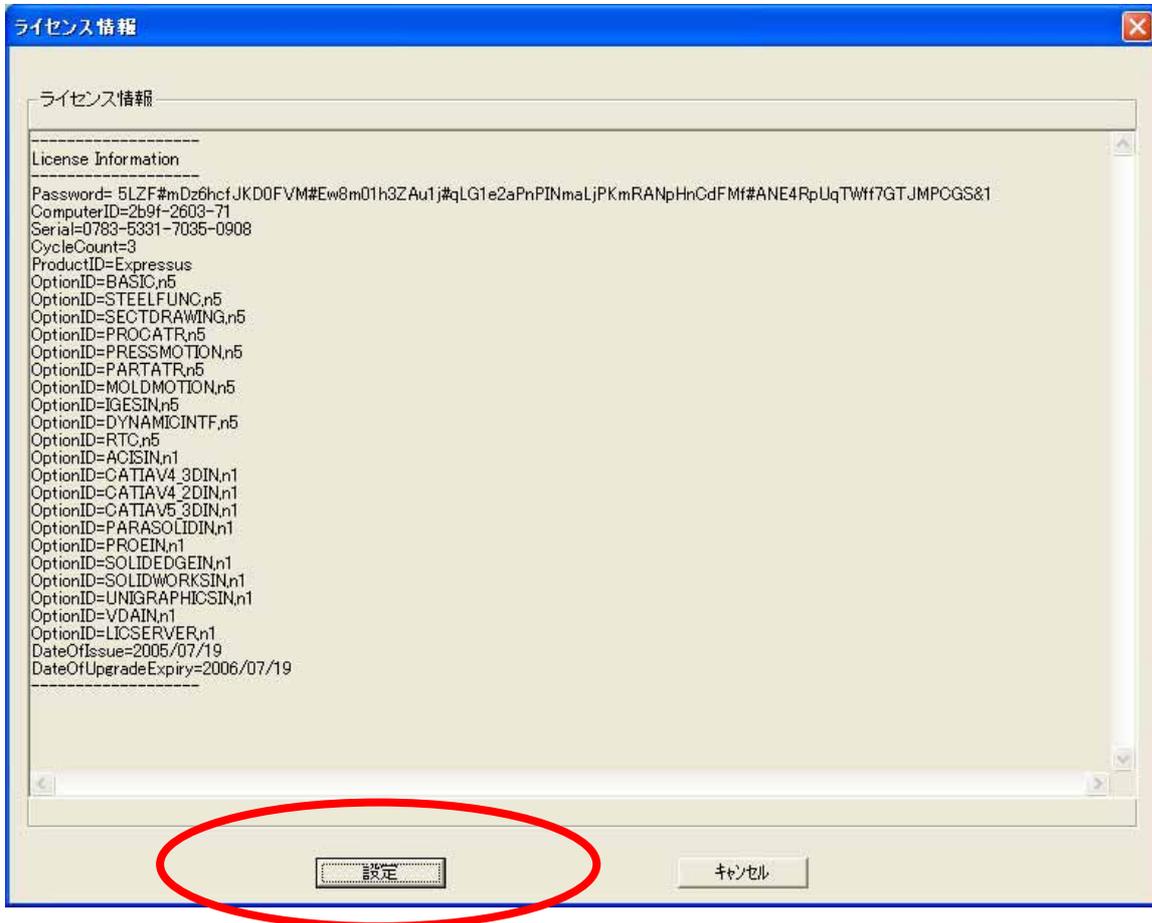
[ライセンス移行パスワード連絡書]に記載されているライセンスパスワードを、[ライセンスインポート]ダイアログボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



ライセンスパスワードは、カット&ペーストにて入力してください。

4-13

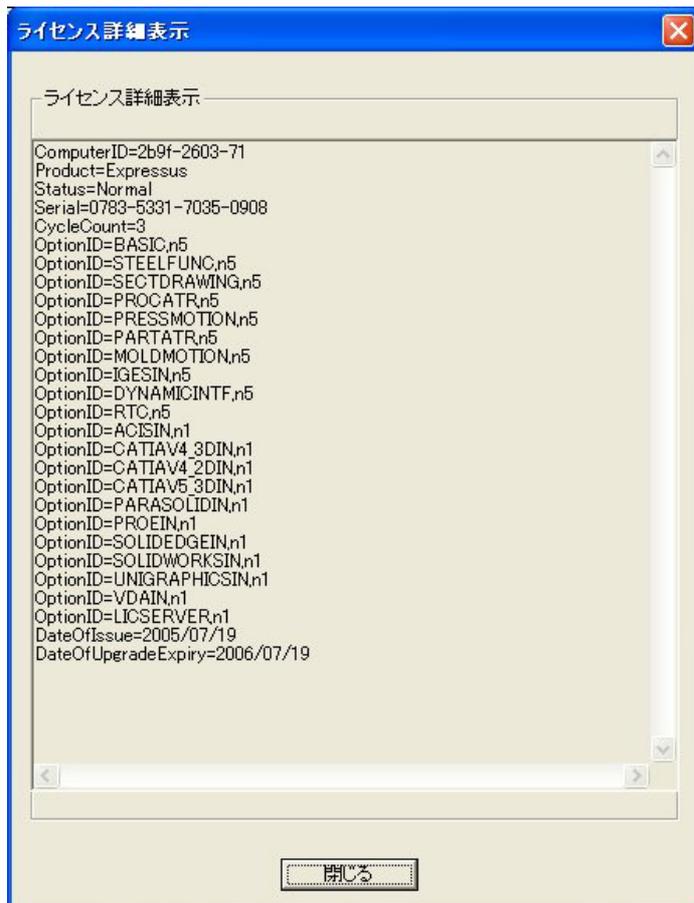
[ライセンス情報]の[設定]ボタンをクリックして下さい。



[ライセンス表示]にて、「ライセンスが不正です。」あるいは、「ライセンスが設定されていません。」のメッセージが表示された場合は、正しいライセンスパスワードを再度入力し、パスワードの設定を行って下さい。

4-14

[ライセンスツール]ダイアログボックスの[ライセンス詳細表示]をクリックし、ライセンス情報の確認を行います。



5 ライセンスサーバーの設定

5-1

ライセンスサーバー設定は、以下の手順で行います。

- Expressus のインストール
- コンピュータ ID の調査 (ライセンスツールを実行して調べる)
- ライセンスパスワード申請 (Web ページから)
- ライセンスパスワード連絡書入手 (電子メールにて)
- ライセンスパスワード設定 (ライセンスツールで設定)
- ライセンスパスワード確認 (ライセンスツールで確認)
- ライセンスサーバーサービスの再起動
- ライセンスサーバーサービスの利用の確認
- ライセンス供給状況の確認

5-2

ライセンスサーバーとして利用したい PC に Expressus がインストールされていない場合には、Expressus のインストールを行います。

インストール手順は、手順2「インストールの実行」と同じですが、途中の手順2-7では、「ライセンスサーバーをインストールする」を選択してください。

ライセンスサーバーは、Windows のサービスとして登録され、インストール時に実行開始されます。

5-3

ライセンスサーバーのコンピュータ ID を調べます。

調査手順は、手順 3-3 と同じです。

5-4

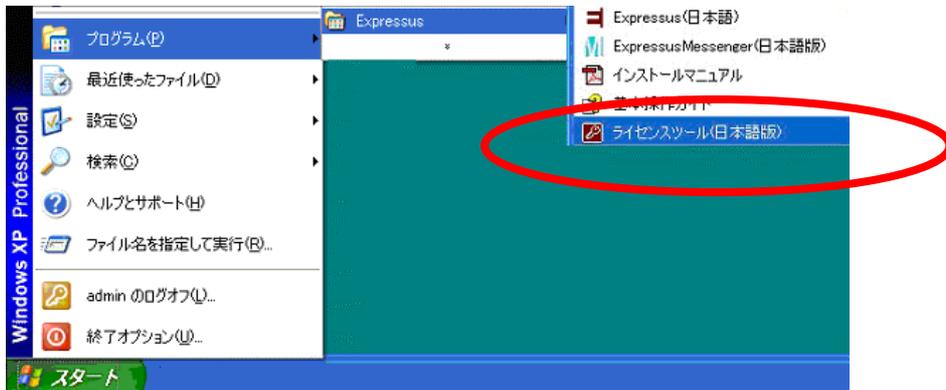
ライセンスパスワードの申請を行います。

申請手順は、手順 3-4 と同じです。

5-5

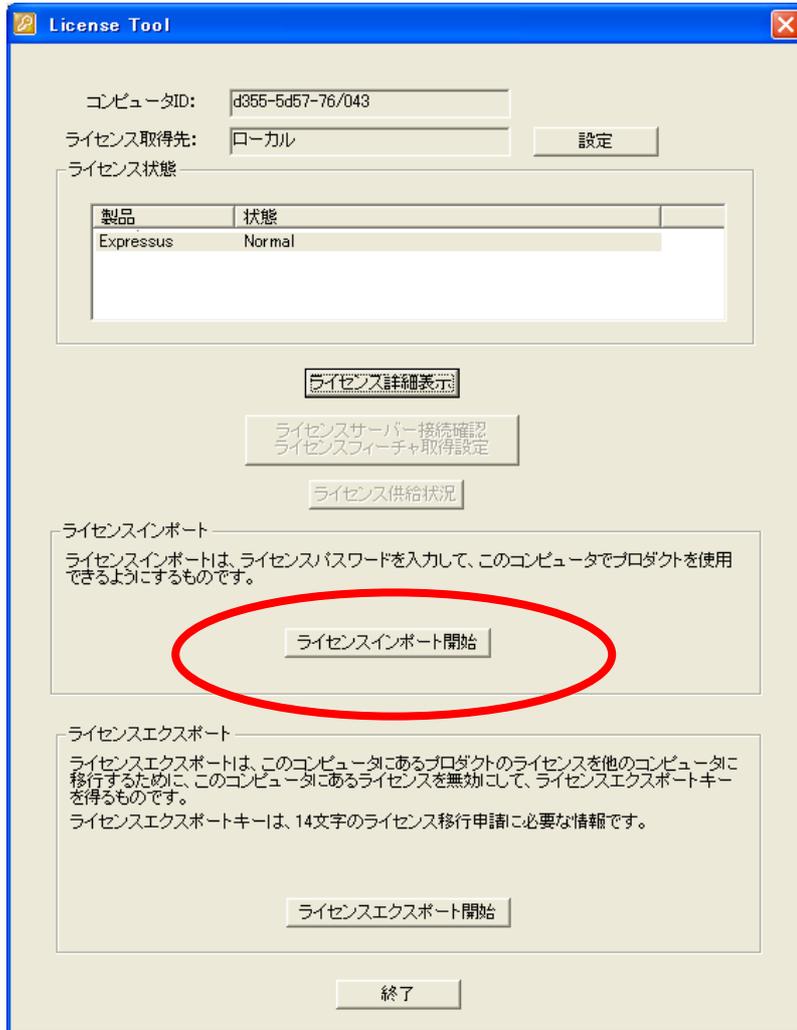
入手したライセンスパスワードの設定を行います。

Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。



5-6

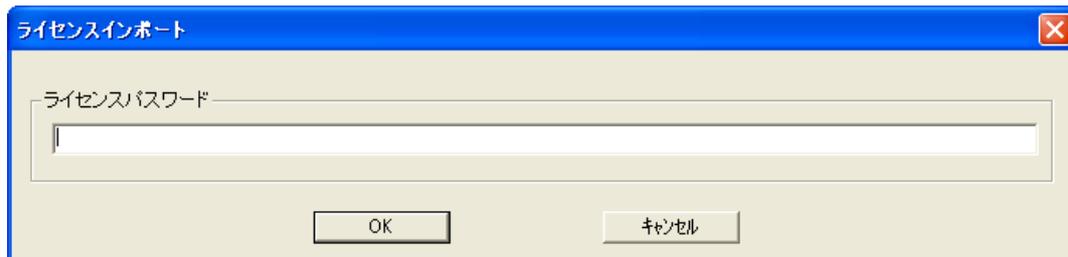
[ライセンスツール] が起動したら、[ライセンス取得先] が「ローカル」となっていることを確認し、[ライセンスインポート開始] をクリックします。



[ライセンス取得先] が「ライセンスサーバー」となっている場合は、[ライセンス取得先] を「ローカル」に変更してください。

5-7

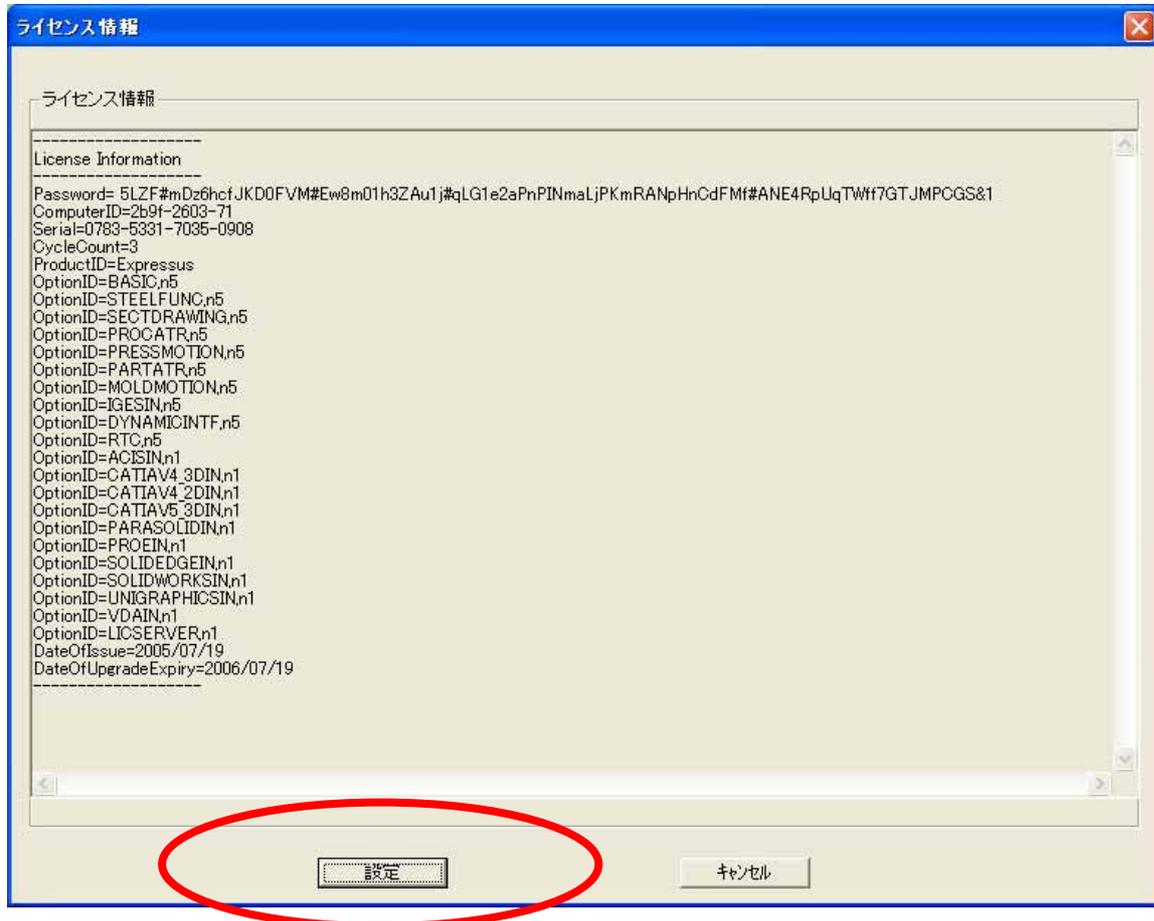
[正式ライセンスパスワード連絡書]あるいは、[試用ライセンスパスワード連絡書]に記載されているライセンスパスワードを、[ライセンスインポート]ダイアログボックスに入力し、[OK]ボタンをクリックして下さい。



ライセンスパスワードは、カット&ペーストにて入力してください。

5-8

[ライセンス情報]の[設定]ボタンをクリックして下さい。

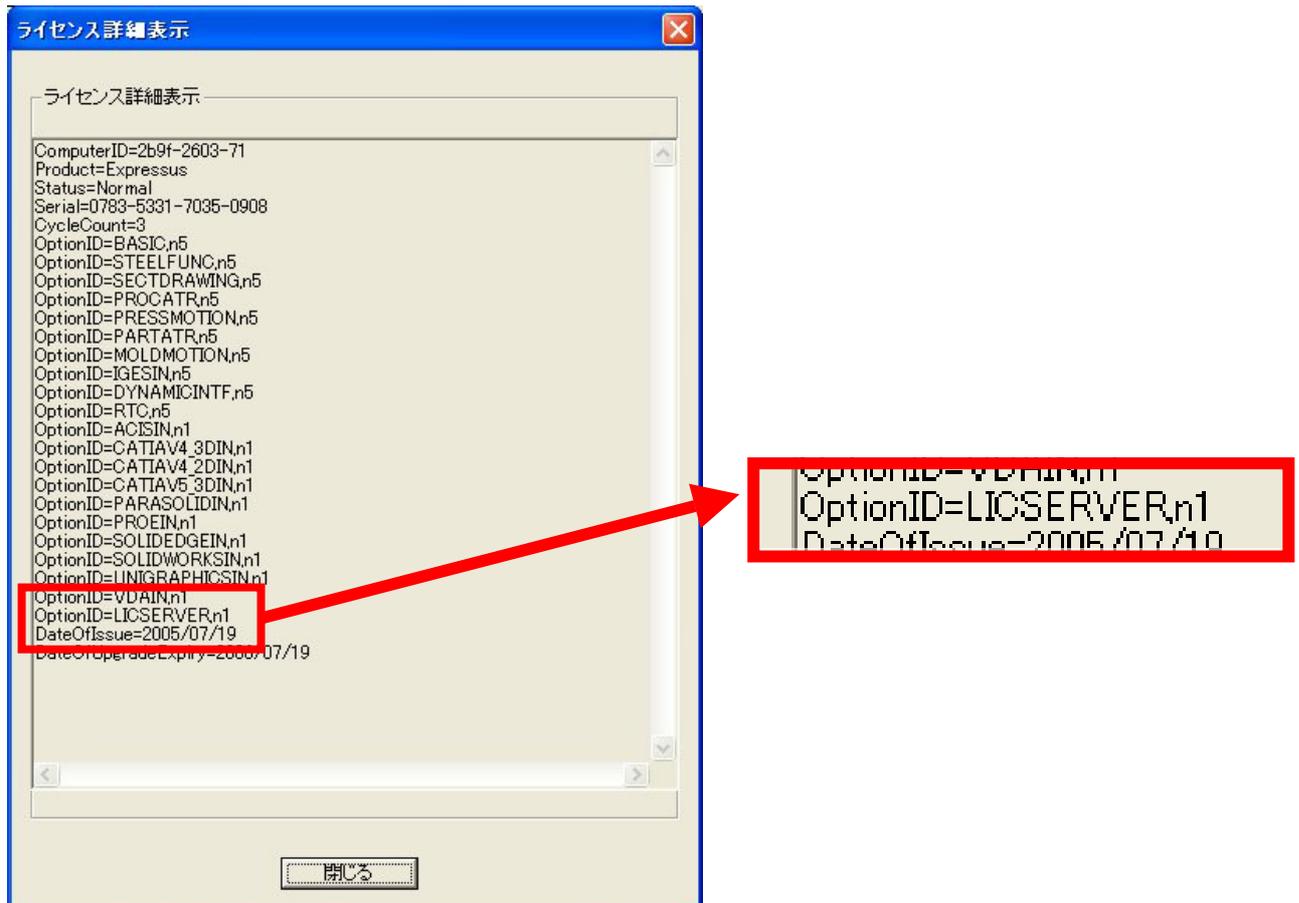


[ライセンス表示]にて、「ライセンスが不正です。」あるいは、「ライセンスが設定されていません。」のメッセージが表示された場合は、正しいライセンスパスワードを再度入力し、パスワードの設定を行って下さい。

5-9

[ライセンスツール]ダイアログボックスの[ライセンス詳細表示]をクリックして、ライセンス情報を確認し、[閉じる]ボタンをクリックします。

※ 下記の「OptionID=(ライセンスフィーチャー),n(数値)」の(数値)には、ライセンスフィーチャーのライセンス数が入力されます。



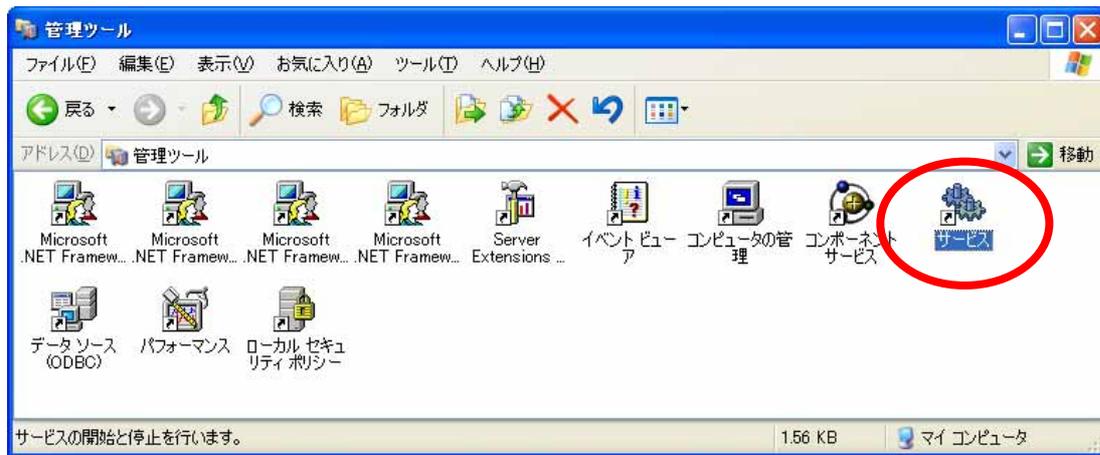
ライセンスサーバーを利用するためには、「OptionID=LICSERVER,n1」が必要です。このオプションが無い場合には、ライセンスサーバーは無効状態になり、利用することができません。

5-10

ライセンスサーバーサービスの再起動を行います。

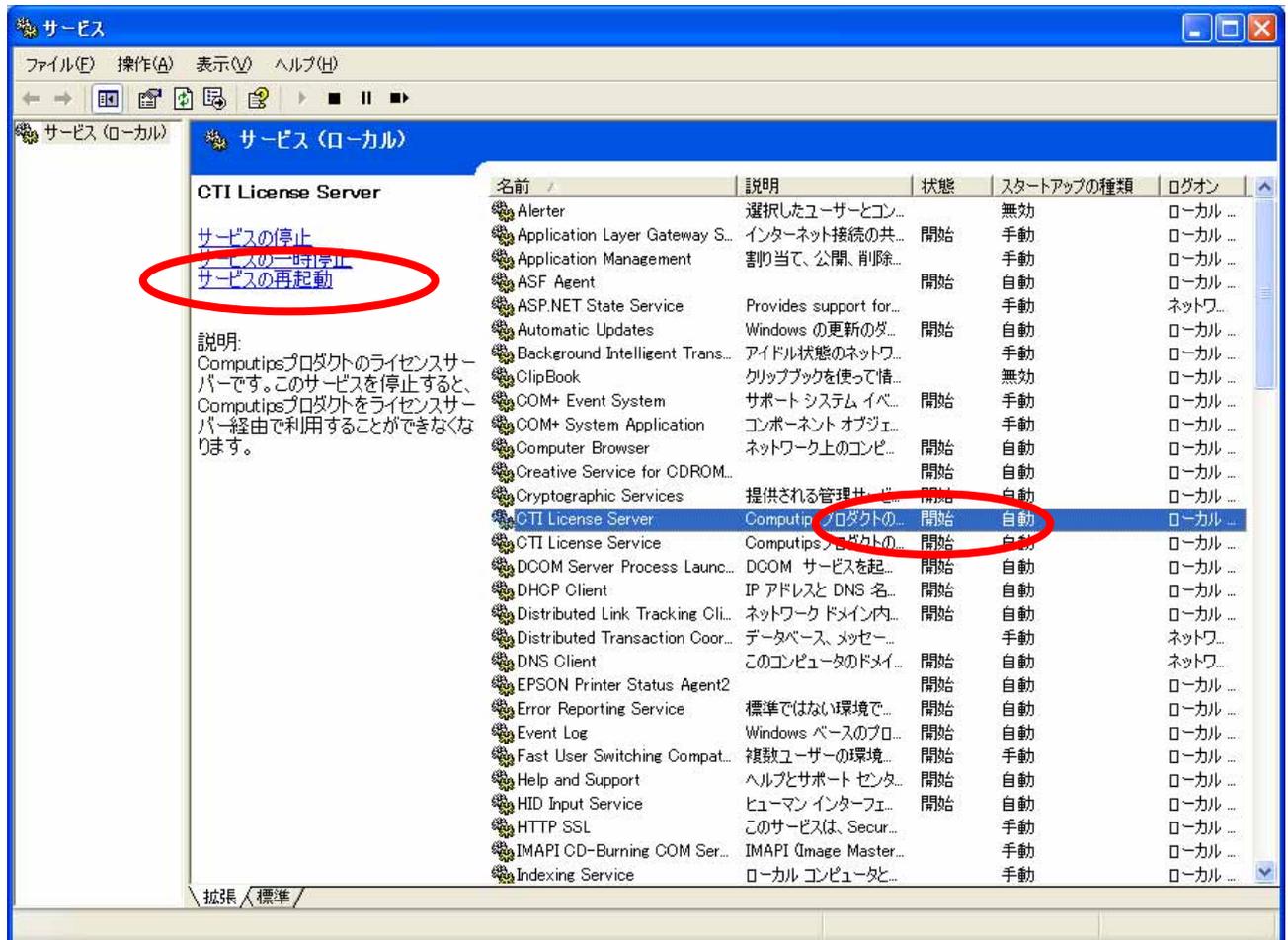
ライセンスインポートした内容は、サービスの再起動によってのみ反映されます。

コントロールパネルの管理ツールのサービスを実行してください。



CTI License Server という名前のサービスを選択して、サービスの再起動をクリックしてください。

サービス再起動の後、状態が「開始」になっているかを確認してください。

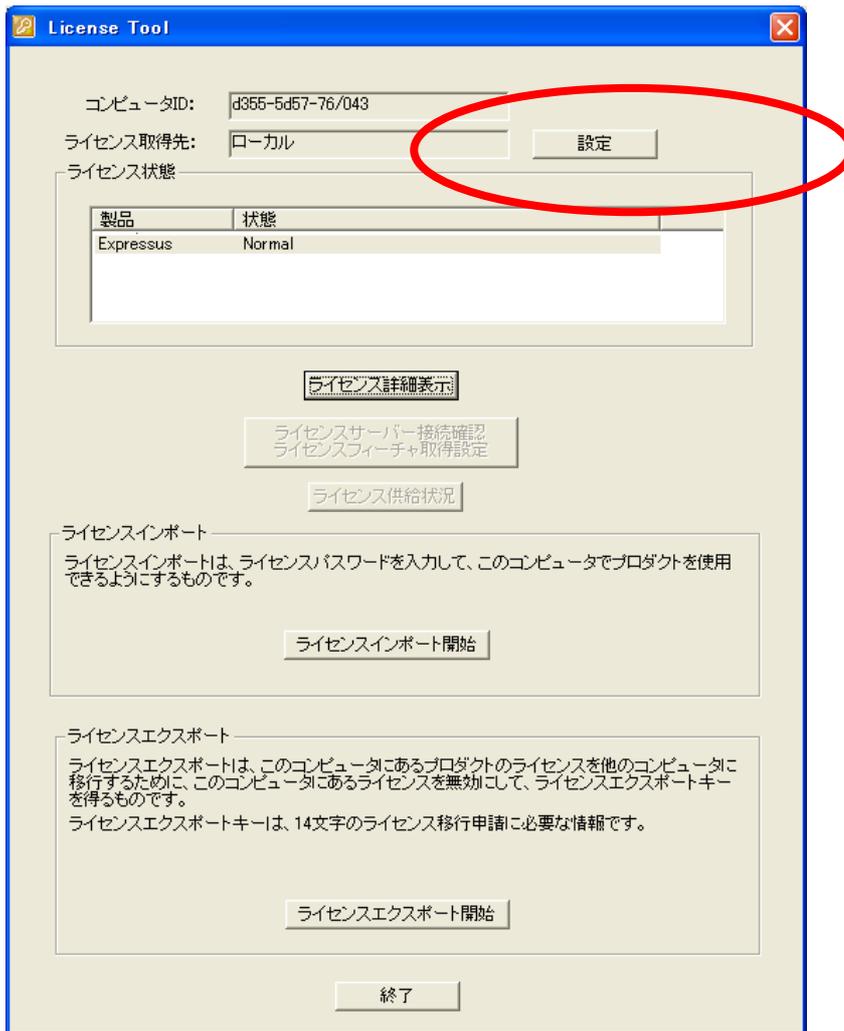


CTI License Service という似た名前のサービスと間違えないようにしてください。

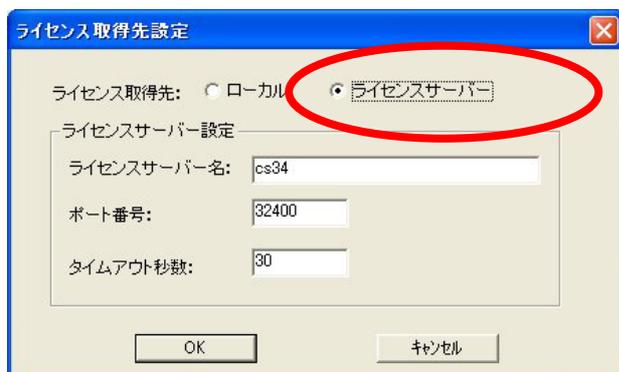
5-11

[ライセンスツール]ダイアログボックスで[ライセンス取得先]を「ライセンスサーバー」に変更して、ライセンスサーバーサービスが利用できるかどうかの確認を行います。

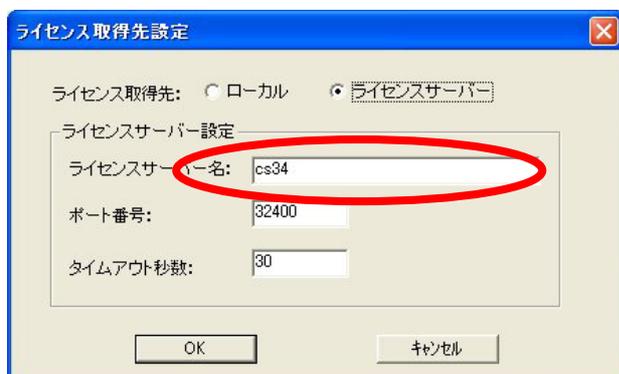
- ① [ライセンスツール]ダイアログボックスの[ライセンス取得先]の[設定]ボタンをクリックします。



- ② [ライセンス取得先設定]ダイアログボックスが起動したら、[ライセンス取得先]の「ライセンスサーバー」を選択します。

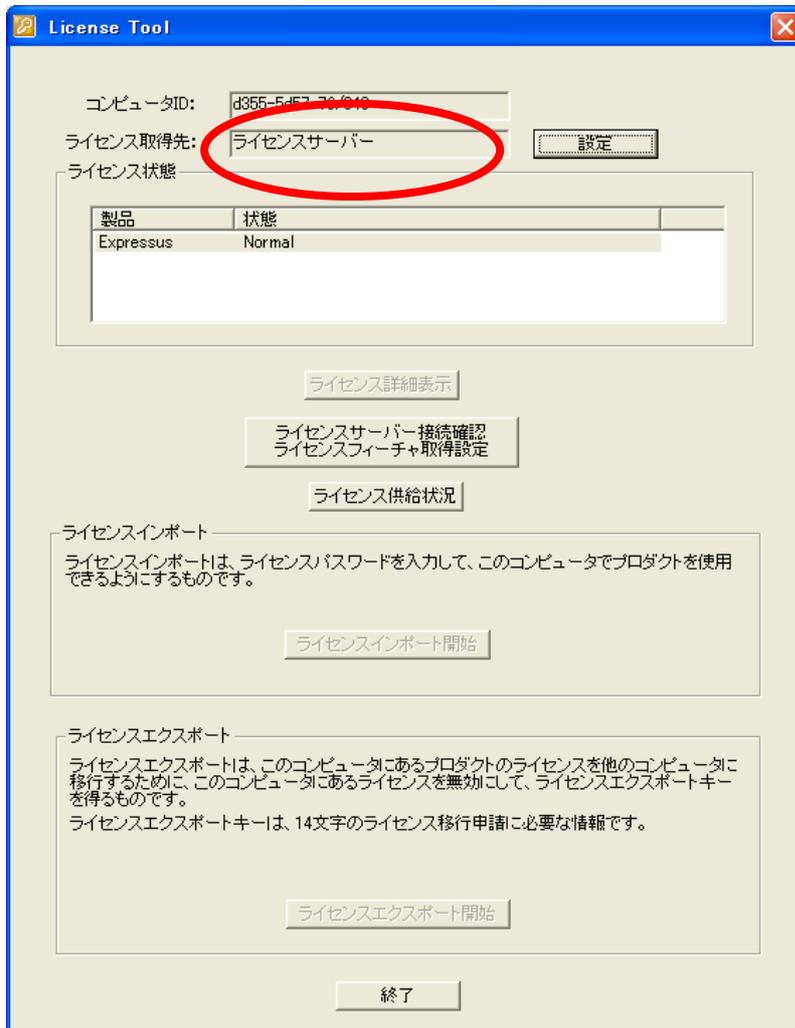


- ③ 「ライセンスサーバー名」に、ライセンスサーバーのコンピュータ名を入力します。



[ポート番号] と [タイムアウト秒数] は、通常は変更する必要はありません。

- ④ [ライセンス取得先設定]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックすると、[ライセンスツール]の[ライセンス取得先]が「ライセンスサーバー」に変更されます。



下記のメッセージが表示された時には、次の原因が考えられます。



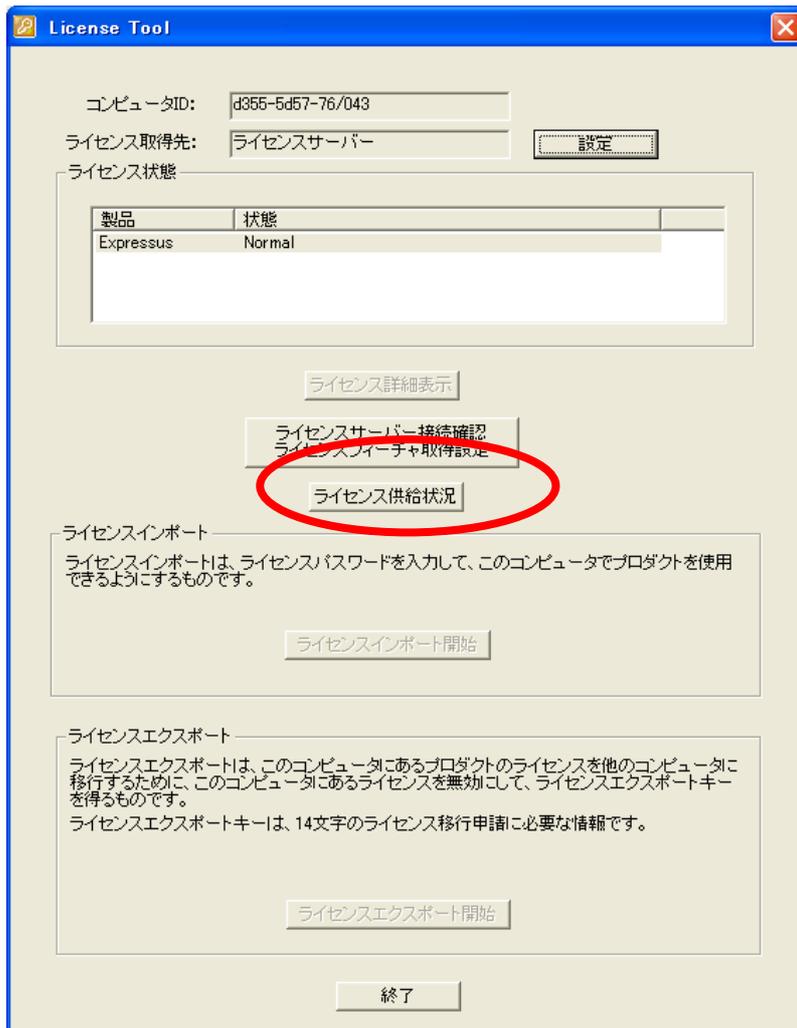
- ライセンスサーバーがインストールされていない。
- ライセンスフィーチャーLICSERVERを持つライセンスが設定されていない。
- ライセンス取得先のコンピュータ名が違っているか、アクセスできない状態にある。

※ [ライセンス詳細表示]は、[ライセンス取得先]を「ローカル」に変更すると表示出来ます。

5-12

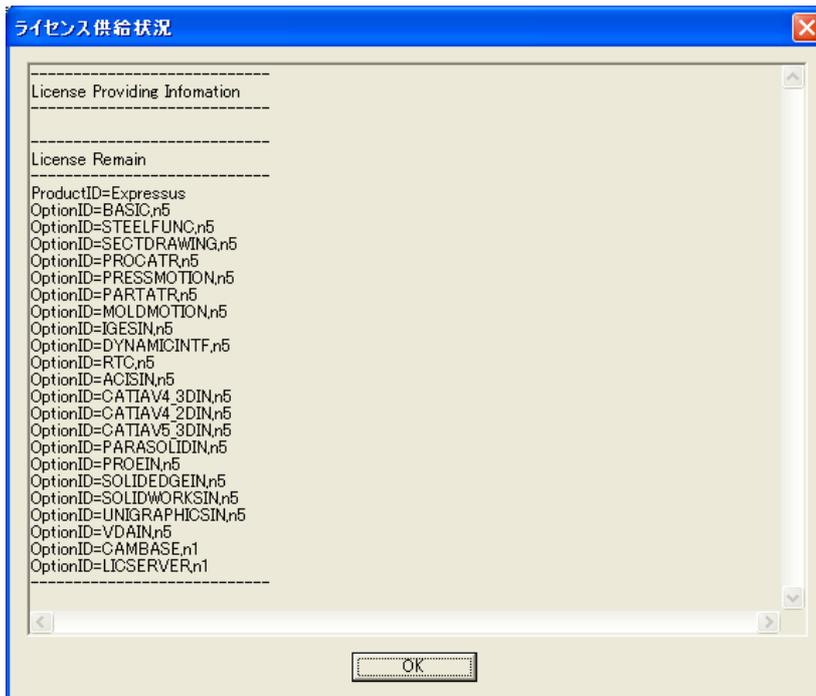
[ライセンスツール]で、ライセンス供給状況の確認を行います。

[ライセンス供給状況]のボタンをクリックします。



下記のような[ライセンス供給状況]ダイアログボックスが表示されます。

- ・ 「License Remain」の「OptionID=(ライセンスフィーチャー),n(数値)」の(数値)には、
使用していないライセンス数が表示されます。
- ・ 「License Providing Infomation」には、使用しているコンピュータ名、コンピュータ ID および
ライセンスが表示されます。



6 ライセンスサーバーを利用するクライアントの設定

6-1

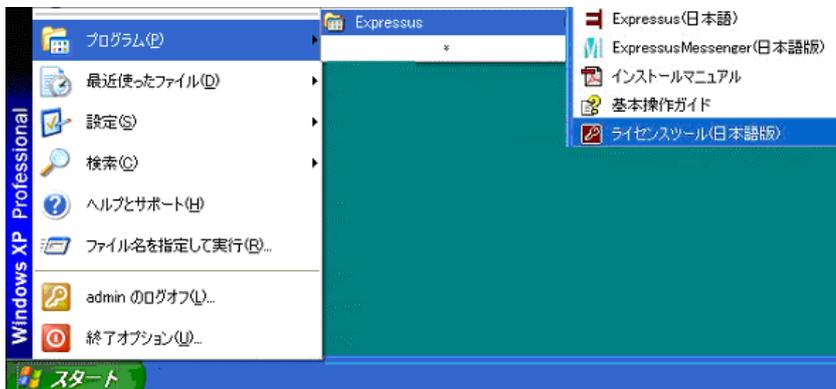
ライセンスサーバーを利用するクライアントの設定は、以下の手順で行います。

- 取得先ライセンスサーバー設定（ライセンスツールで設定）
- ライセンスフィーチャー取得設定（ライセンスツールで設定）

6-2

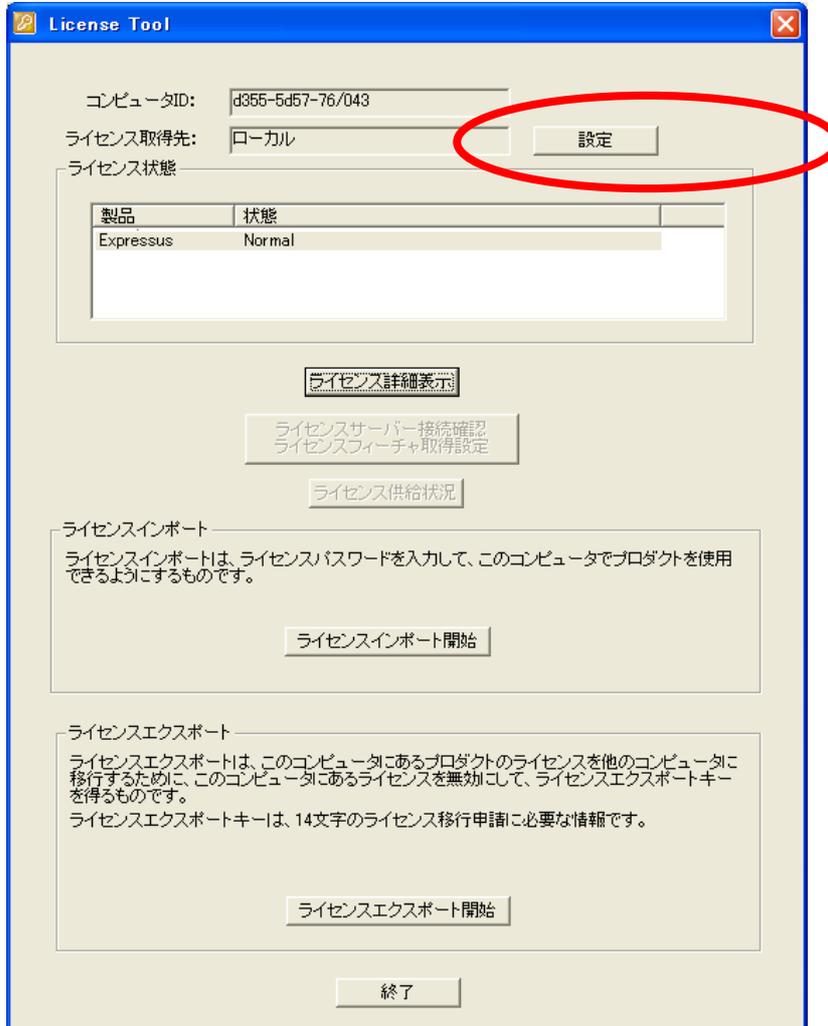
ライセンスを取得するライセンスサーバーの設定を行います。

Windows の[スタート]メニューの[プログラム]から Expressus のサブメニューを表示し、[ライセンスツール]をクリックして起動します。

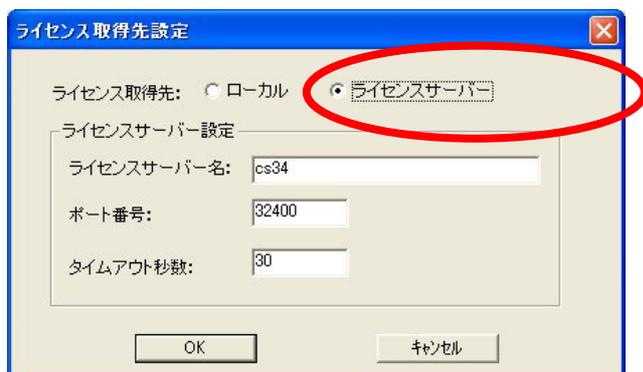


[ライセンスツール]ダイアログボックスで[ライセンス取得先]を「ライセンスサーバー」に変更します。

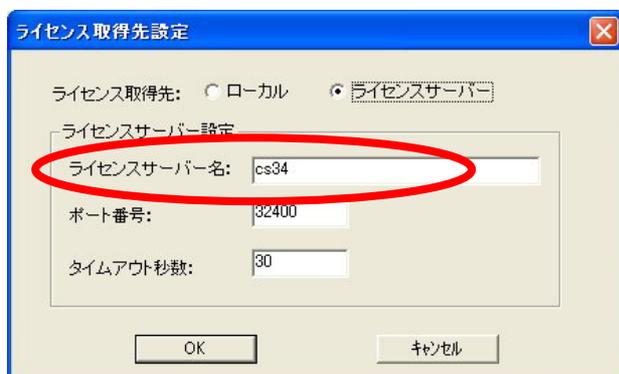
① [ライセンスツール]ダイアログボックスの[ライセンス取得先]の[設定]ボタンをクリックします。



- ② [ライセンス取得先設定]ダイアログボックスが起動したら、[ライセンス取得先]の「ライセンスサーバー」を選択します。



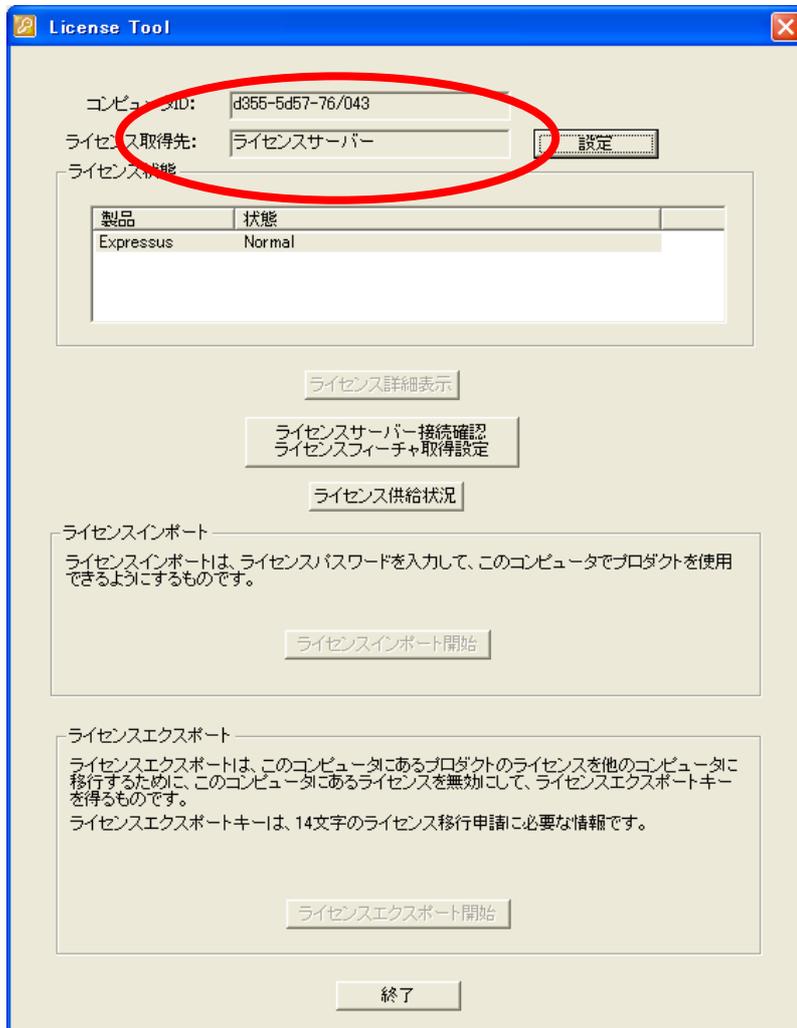
- ③ 「ライセンスサーバー名」にサーバーとして利用するコンピュータのコンピュータ名を入力します。



[ポート番号] と [タイムアウト秒数] は、通常は変更する必要はありません。

[タイムアウト秒数] は、クライアントがサーバーに問い合わせる時の接続時間です。

- ④ [ライセンス取得先設定]ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックすると、[ライセンスツール]の[ライセンス取得先]が「ライセンスサーバー」に変更されます。



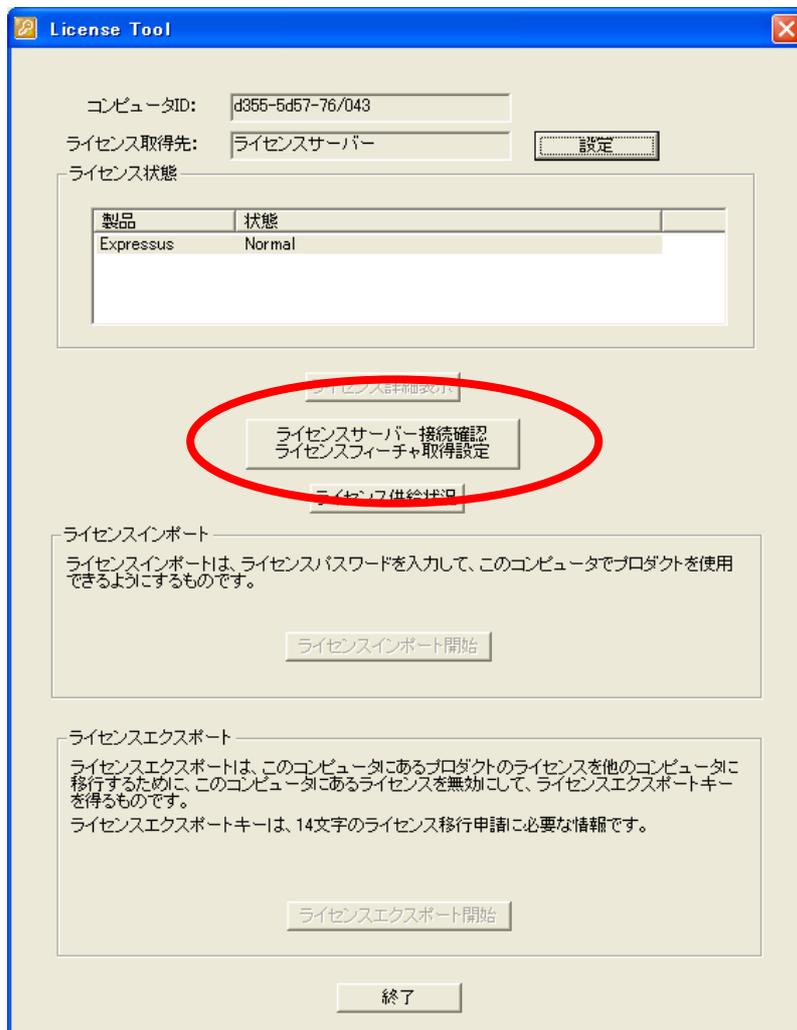
[ライセンスツール]にて、「ライセンスサーバーに接続できません。」のメッセージが表示された場合は、ライセンスサーバー名が間違っているか、ライセンスサーバーが起動されていないもしくは、ライセンスサーバーと通信が出来ないなどの理由が考えられます。

6-3

ライセンスフィーチャーの取得設定を行います。

ライセンスフィーチャー設定は、ライセンスサーバーから取得するライセンスオプションを指定するものです。個々のクライアント PC で Expressus や Expmes を起動した時に取得するライセンスオプションを指定します。

[ライセンスツール]で、[ライセンス取得先]が「ライセンスサーバー」となっていることを確認し、[ライセンスサーバー接続確認/ライセンスフィーチャー取得設定]をクリックします。



6-4

[ライセンスフィーチャ取得設定]ダイアログボックスが表示されたら、ライセンスフィーチャーから取得したいライセンスを選択します。



- Expressus が起動している間は、ライセンスが取得された状態になります。
- ExpressusMessenger(Expmes)は、ログインする時に、ライセンスが取得され、ログアウトするとライセンスが開放されます。

クライアントからでも、ライセンスツールでライセンス供給状況の確認を行うことができます。

7 ライセンスサーバーの移行

ライセンスサーバーも、通常のクライアントと同様にライセンス移行が下記の手順で行えます。

7-1

ライセンス移行は、以下の手順で行います。

- 移行前のコンピュータで、ライセンスのエクスポートを実行
- 移行先コンピュータに Expressus をインストールする
- 移行先コンピュータのコンピュータ ID の調査（ライセンスツールを実行して調べる）
- ライセンス移行申請（Web ページから）
- ライセンスパスワード連絡書入手（電子メールにて）
- ライセンスパスワード設定（ライセンスツールで設定）
- ライセンスパスワード確認（ライセンスツールで確認）
- ライセンスサーバーの設定

7-2

移行前のコンピュータで、ライセンスのエクスポートを実行します。

エクスポート手順は、手順 4-2 と同じです。

7-3

移行先のコンピュータに Expressus をインストールします。

インストール手順は、手順 2 と同じです。

7-4

移行先のコンピュータのコンピュータ ID を調べます。

調査手順は、手順 4-7 と同じです。

7-5

ライセンスの移行申請を行います。

申請手順は、手順 4-9 と同じです。

7-6

入手したライセンスパスワードの設定を行います。

設定手順は、手順 4-10 と同じです。

7-7

ライセンスサーバーの設定を行います。

設定手順は、手順 5-11 以降と同じです。

8 Expressus用VRML出力コマンド

(CADCEUS/CADMEISTER スクリプトコマンド)

Expressus 用 VRML 出力コマンドの CADCEUS および CADMEISTER へのインストール方法および起動方法を説明します。

このコマンドは、CADCEUS および CADMEISTER 上で CADCEUS および CADMEISTER のオブジェクト群を、レイヤにて構造化した VRML ファイルを出力するためのコマンドです。

8-1

Expressus をインストールしたプログラムフォルダ(標準では C:\Program Files\Expressus)の中にあるコマンドファイル“OBJDIV”、初期設定ファイル“OBJDIV.ini”の2つのファイルを、

- CADCEUS の場合は、CADCEUS の導入ドライブの¥CADCEUS¥XQT にコピーして下さい。
- CADMEISTERS の場合は、CADMEISTER の導入ドライブの¥CRESTAM¥XQT にコピーして下さい。

8-2

CADCEUS および CADMEISTER での Expressus 用 VRML 出力コマンドの起動方法

出力したいオブジェクトのポートを開き(創成ポート、創成オブジェクトとする)、何もコマンドが起動されていない状態で、下記の文字列(大文字半角英字)を入力し、コマンドを起動します。

@OBJDIV

下記のメッセージが表示された場合は、コマンドファイルが正しくコピーされていないか、コマンド起動文字列が間違っています。

```
[OBJDIV: 0: ロード・モジュールが存在しない] [1001:-112:F]
```

コマンドの内容は、EXPRESSUS 用 VRML 出力コマンド使用解説書を参照して下さい。

9 アンインストール手順

Expressus ソフトウェアの削除方法を説明します。

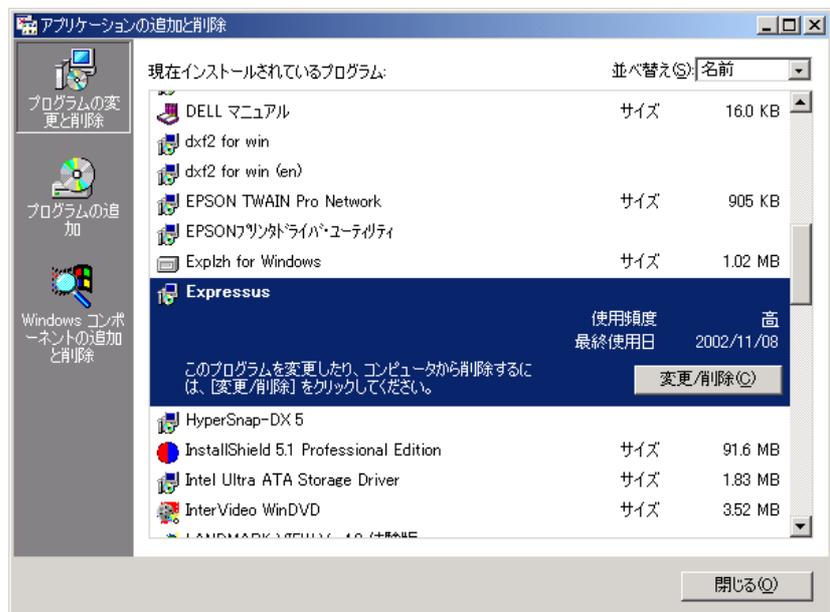
9-1

Windows の[スタート]メニューの[設定]からサブメニューを表示し、[コントロールパネル]をクリックします。
[コントロールパネル]内の[アプリケーションの追加と削除]をクリックして下さい。



9-2

[アプリケーションの追加と削除]ダイアログボックスより、[Expressus]を選択し、[変更/削除]ボタンをクリックして下さい。
[UnInstallShield]が起動し、コンピュータからプログラムを削除します。



● 資料名 Expressus インストール手順説明書

● 発行年月 第3.42版 2006年6月